

明治十七年陸軍砲兵少尉ニ任シ、爾後現官ニ進ム、其ノ間近衛野戰砲兵聯隊附、同補充大隊副官、同彈藥大隊附、陸軍野戰砲兵射擊學校教官、兼陸軍士官學校馬術教官等ニ補セラレタリ

伯爵 小松輝久 明治二十一年八月生、東京府華族、
鞍馬乘組、海軍中尉、從四位、勳一等
海軍兵學校卒業○明治四十三年海軍少尉ニ任シ、薩摩乘組トナリ、爾後海軍砲術學校及海軍水雷學校普通科學生、河内、宗谷各乘組等ヲ仰付ラレタリ

伯爵 細川護立 明治十六年十月生、熊本縣華族、舊熊本藩主
正五位
伯爵 德川義親 明治十九年十月生、愛知縣華族、舊名古屋藩主
正五位

伯爵 小村欣一 明治十六年五月生、宮崎縣華族
外務書記官、正五位、勳六等
東京帝國大學法科大學卒業○明治四十四年大使館三等書記官ニ任セラレ

伯爵 中御門經恭 明治二十一年十月生、東京府華族、舊公卿
正五位
伯爵 菊亭公長 明治二十二年一月生、北海道廳華族、舊公卿
正五位

伯爵

伯爵 正親町實正

安政二年六月生、東京府華族、舊公卿
賞勳局總裁、宗秩寮審議官、從二位、勳三等

文久二年侍從下ナリ、明治十二年以降宮内省御用掛、侍醫局出仕製藥掛、藥劑師、埼玉縣知事、大喪使祭官副長(二回)、大正三年歌御會始讀師控等ニ歷任シ、又博覽會開設臨時調査委員、東洋拓殖株式會社創立委員長等ニ舉ケラル、舊堂上華族保護資金調査委員タリ○貴族院議員ニ當選スルコト四回

伯爵 大原重朝

嘉永元年五月生、東京府華族、舊公卿
從二位、勳三等

明治元年參與職辨官ニ任シ、爾後宮内省九等出仕外務省御用掛、大喪使祭官、明治天皇靈柩供奉、祭官副長、大正三年歌御會始讀師、同讀師控等仰付ラル、式部職御用掛タリ○貴族院議員ニ當選スルコト四回

伯爵 萬里小路通房

嘉永元年五月生、千葉縣華族、舊公卿
從二位、勳三等

慶應元年右少辨ニ任シ、爾後參與職、軍防局親兵掛、關東大監察使附屬、鎮將府辦事御旗監、大總督府參謀、軍務官副知事、近臣、工部省、宮内省等御用掛、侍從、水産調査會、生産調査會等委員、大喪使祭官副長、明治天皇靈柩供奉等ニ歷任シ、又洋行仰付ラレ、英照皇太后御葬祭ニ付三タヒ諸官ニ任セラレ○貴族院議員ニ當選スルコト四回

伯爵 清棲家教

文久二年五月生、東京府華族、舊佛光寺住職
正三位、勳三等

明治五年佛光寺住職トナリ、爾後權少教正、大教正、山梨、茨城、和歌山、新潟等諸縣之知事、馬匹調査委員等ニ歷任セリ○貴族院議員ニ當選スルコト四回

伯爵 清閑寺經房

慶應元年正月生、京都府華族、舊公卿
正三位
貴族院議員ニ當選スルコト二回

伯爵 吉井幸藏

安政二年十月生、東京府華族、舊鹿兒島藩士、海軍少佐、正三位、勳四等、功五級

英米獨三國ニ留學、海軍兵學校兵學科卒業○明治十四年少尉補ニ任シ、富士山艦員外乗組トナリ、爾後磐城艦乗組、同分隊長、比叡艦分隊長、軍事部出仕、參謀本部海軍部課員、露國皇族及希臘皇族接伴掛、摩耶、千代田、磐城、秋津洲等ノ各分隊長、侍從武官、廣軌鐵道改築準備委員會委員等ニ任補セラレ、嘗テ濠洲へ航行シ、又西郷海軍大臣歐米各國派遣及海軍少將威仁親王歐洲差遣ニ付執モ隨行仰付ラレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト四回

伯爵 松浦厚

元治元年六月生、長崎縣華族、舊平戶藩主、從三位

學習院、陸軍豫備士官學校等ニテ修學、英國留學

伯爵 寺島誠一郎

明治三年九月生、東京府華族、舊鹿兒島藩、從三位、勳六等

學習院ニテ修學、米國留學理財學士ノ學位ヲ受ケ、更ニ佛國留學法學士ノ學位ヲ受ケ、英、伊、伯、獨、埃、土、希、埃ノ諸國遊歴○明治卅七年以降外務省取調事務囑託、外務大臣祕書官等ニ任シ、外交官及領事官臨時試驗、生産調査會等委員ニ舉ケラル、又貞愛親王殿下御渡米ニ付隨行仰付ラル、臨時博覽會評議員タリ○貴族院議員ニ當選スルコト二回

伯爵 柳澤保惠

明治三年十二月生、奈良縣華族、舊郡山藩主、從三位、勳四等

學習院大學科卒業學習院學士ノ稱號ヲ受ク、次テ宮内省留學生トシテ獨埃白三國留學、又屢々歐米諸國遊歴○明治三十二年以降内閣統計局事務囑託、東京市統計顧問、同臨時市勢調査協議委員會、議長、神戸市臨時市勢調査顧問、國務調査準備委員會、廣軌鐵道改築準備委員會等委員ニ舉ケラル、曾テ載仁親王埃國差遣ニ付隨行同國へ、及御用有之歐米各國へ差遣ハサレ、西班

牙國マドリット市萬國民勢會議、諾威國クリスチアニア市、英國倫敦市、丁抹コッペンハーゲン市、佛國巴里市、和蘭海牙市等各開催ノ萬國統計會議、獨逸國柏林市萬國衛生及デモグラヒト會議等委員トシテ參列執モ仰付ラル、又英國欽定統計學院會員及國際統計學院正會員タリ○貴族院議員ニ當選スルコト二回

伯爵 柳原義光

明治七年九月生、東京府華族、舊公卿、正四位、勳四等

學習院、京都帝國大學法科大學等ニテ修學、歐米漫遊○明治三十年英照皇太后御葬祭齋官仰付ラレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト二回

伯爵 川村鐵太郎

明治二年五月生、東京府華族、正四位、勳五等

英佛二國留學、次テ佛白二國工業視察○明治四十三年議院建築準備委員會委員仰付ラル○貴族院議員ニ當選スルコト二回

伯爵 奥平昌恭

明治十年六月生、東京府華族、舊中津藩主、正四位

學習院、京都帝國大學法科大學等ニテ修學○明治四十二年歐米漫遊ノ途次各國港灣聯絡調査ヲ囑託セラレタリ

伯爵 林博太郎

明治七年二月生、東京府華族、舊山口藩士、正四位、勳五等

明治三十七年學習院教授ニ任シ、爾後東京音樂學校教育學教授、兼任式部官(二回)、富美宮奉宮御用掛、東京高等商業學校教授等ニ歷任ス、文科大學講師タリ

伯爵 松平賴壽

明治七年十二月生、東京府華族、舊高松藩主、從四位

第二編 現在議員略履歷(子爵)

學習院、早稻田大學等卒業○貴族院議員ニ當選スルコト二回
明治九年七月生、山口縣華族、舊山口藩士
朝鮮總督府總務局長兼朝鮮總督府鐵道局參事
從四位、勳四等

伯爵 兒玉秀雄

東京帝國大學法科大學卒業○明治三十三年大藏屬ニ任シ、爾後臨時秩祿處分調査局屬兼大藏屬、
大藏省試補、臨時煙草製造準備局事務官、煙草專賣局事務官(兼トモ)、兼大藏書記官、臨時國債
整理局書記官、統監府書記官、兼同鐵道管理局事務官、兼鐵道院參事、兼統監秘書官、朝鮮總
督府會計局長兼同總督秘書官等ニ歷任シ、其ノ間帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト六回、又
英國倫敦へ出張ヲ命セラレタリ

伯爵 島津忠麿

明治十年五月生、宮崎縣華族、舊佐土原藩主
從四位

學習院ニテ修學、又漢學ヲ修ム

伯爵 松平直之

文久元年七月生、東京府華族、舊前橋藩主
正五位

●子爵

子爵 鍋島直彬

天保十四年十二月生、佐賀縣華族、舊鹿島藩主
錦鷄間祇候、從二位、勳二等

明治二年鹿島藩知事ニ任シ、爾後侍從、宮内省、内務省、司法省等ノ御用掛、沖繩縣令兼判事、
議官、高等法院豫備裁判官、帝室制度取調委員等ニ歷任セリ○貴族院議員ニ當選スルコト四回

子爵 曾我祐準

天保十四年十二月生、東京府華族、舊御川藩士
陸軍中將、從二位、勳一等

明治元年海軍御用掛、軍務官判事試補、徵士事務官權判事等ニ任シ、爾後海軍諸艦取扱管轄、
海軍參謀、兵部少丞、佛人應援ノ手續取調、函館賞典取調、兵部權大丞、陸軍大佐、大阪鎮臺
大貳心得、陸軍兵學權頭、兵學寮一等次官、教導團長官、兵學頭、陸軍士官學校長(二回)、陸
軍參謀局御用掛、征討第四旅團司令官兼別働第五旅團司令官、中部(二回)、東部、西部等各
檢閱使、東京、熊本、大阪、仙臺等各鎮臺司令官、中部監軍部長心得、陸軍將校以下勳功調
査委員、參謀本部次長(二回)、東京鎮臺軍法會議判士長、國防會議議員、明宮御養育主任、東
宮大夫、宮中顧問官等ニ歷任シ、又土木會長、鐵道會議議員其ノ他諸種ノ委員ニ舉ケラレタリ
○貴族院議員ニ當選スルコト四回

子爵 伏原宣足

弘化二年五月生、京都府華族、舊公卿
從二位、勳四等

明治二年次侍從ニ任シ侍從ニ進ミ、爾後式部寮出仕、中神部、賞典補、太政官御川掛、賀茂別
雷神社、同御祖神社等ノ宮司等ニ歷任セリ○貴族院議員ニ當選スルコト四回

子爵 加藤泰秋

弘化三年八月生、東京府華族、舊大洲藩主
從二位

明治二年大洲藩知事ニ任シ、爾後宮中、明宮等各祇候仰付ラレタリ
嘉永元年三月生、千葉縣華族、舊一宮藩主
從二位、勳三等

子爵 加納久宜

明治二年一宮藩知事ニ任シ、爾後文部省八等出仕、中視學、巖手師範學校長、新潟縣新潟學校
長、判事(熊谷始審裁判所詰)、熊谷始審裁判所長、大審院、東京控訴院ノ檢事、鹿兒島縣知事、
英照皇太后御大葬供奉等ニ補任セラレ、關西府縣聯合共進會審查長、日英博覽會、日本大博覽
第二編 現在議員略履歷(子爵)

會等評議員、生産調査會委員、茶業組合中央會議特別議員等ニ舉ケラレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト三回

子爵 裏松 良光

嘉永三年四月生、東京府華族、舊公卿
陸軍歩兵少佐、正三位、勳三等、功五級

獨逸留學、戸山學校卒業○明治二年以降侍從、陸軍少尉、征討軍團附、名古屋鎮臺歩兵第六聯隊及東京鎮臺歩兵第二聯隊歩兵第三聯隊等ノ小隊長、歩兵第十七、第三十二聯隊等ノ中隊長、大喪使祭官、明治天皇靈柩供奉、同奉祀ニ付祭官等ニ歴任シ、明治二十七八年ノ戰役ニ從軍ス○貴族院議員ニ當選スルコト三回

子爵 岡部長 職

安政元年十一月生、東京府華族、舊岸和田藩主
正三位、勳二等

英、米二國留學○明治二年岸和田藩知事ニ任シ、爾後公使館參事官(英國在勤)、條約改正掛、外務次官、特命全權公使、東京府知事、司法大臣等ニ歴任シ、又法律取調委員會長、鐵道國有調査會副會長、帝國議會ニ於ケル政府委員、鐵道會議議員、南滿洲鐵道株式會社設立、臨時假名遣調査委員會等各委員ニ舉ケラレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト四回

子爵 仙石政 固

天保十四年十二月生、東京府華族、舊出石藩主
正三位、勳三等

明治二年學校權判事、大學大丞、少監等ニ任シ、爾後出石藩知事、少議官、侍從、宮内省出仕、内務少書記官等ニ歴任セリ○貴族院議員ニ當選スルコト四回

子爵 藤井行 徳

安政二年四月生、東京府華族、舊公卿
正三位、勳四等

明治十二年以降宮中祇候、白峰宮、松尾神社等ノ宮司、大喪使祭官等ニ任シ、又英照皇太后崩御ニ付諸職ヲ命セララルコト四回○貴族院議員ニ當選スルコト三回

子爵 唐橋在 正

嘉永五年十一月生、京都府華族、舊公卿
正三位、勳三等

米國留學○明治八年茨城縣出仕トナリ、爾後英照皇太后御葬祭齋官、大喪使祭官、明治天皇御祭祀ニ付祭官等ヲ仰付セラレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト四回

子爵 野宮定 毅

嘉永六年七月生、東京府華族、舊公卿
正三位、勳四等

明治九年以降宮中、滋宮、青山御所等ノ各祇候、大喪使祭官等ニ任シ、又英照皇太后崩御ニ付諸職ヲ命セララルコト四回○貴族院議員ニ當選スルコト三回

子爵 一柳末 徳

嘉永三年七月生、兵庫縣華族、舊小野藩主
正三位、勳三等

慶應義塾ニテ修學○明治二年小野藩知事ニ任シ、爾後帝國博物館工藝部物品取調囑托ヲ命セラレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト四回

子爵 大宮以 季

安政五年二月生、東京府華族、舊公卿
正三位、勳四等

明治二十年以降明宮勤務、東宮侍從、大喪使祭官(二回)、明治天皇靈柩供奉、大正三年歌御會始講頌等ニ歴任セリ○貴族院議員ニ當選スルコト三回

子爵 井伊直 安

嘉永四年二月生、東京府華族、舊與板藩主
正三位、勳四等

明治二年與板藩知事ニ任セララル、又歐米各國ヲ遊歴セリ○貴族院議員ニ當選スルコト四回

子爵 松平乘 承

嘉永四年十二月生、東京府華族、舊西尾藩主
宗秩寮寮議官、正三位、勳二等

明治十四年以降宮内省、太政官等ノ御用掛ヲ勤務シ、又赤十字社事務ニ關シ歐洲ニ渡航ス、日

本赤十字社副社長タリ○貴族院議員ニ當選スルコト四回

子爵 青山幸宜 安政元年十一月生、東京府華族、舊郡上藩主

正三位、勳三等

英學ヲ修ム○明治二年以降郡上藩知事、大講義、權少教正、常宮勤務(助勤)等ニ任補セラレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト四回

子爵 山口弘達 萬延元年三月生、東京府華族、舊牛久藩主

正三位、勳三等

學習院研修科卒業○明治二年牛久藩知事ニ任シ、爾後學習院授業補助、同英學教授等ヲ囑托セラレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト四回

子爵 大田原一清 文久元年十月生、東京府華族、舊大田原藩主

正三位、勳四等

明治二年大田原藩知事ニ任セラリ○貴族院議員ニ當選スルコト三回

子爵 鍋島直虎 安政三年二月生、東京府華族、舊小城藩主

正三位、勳三等

英國留學○明治二年小城藩知事ニ任シ、爾後外務省御用掛、布哇皇帝接伴掛等ヲ命セラレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト四回

子爵 牧野貞寧 安政四年六月生、茨城縣華族、舊笠間藩主

正三位、勳四等

明治二年笠間藩知事ニ任セラリ○貴族院議員ニ當選スルコト三回

子爵 京極高德 安政五年十一月生、東京府華族、舊丸龜藩主

正三位、勳三等

華族學校ニテ修學○明治十九年以降青山御所勤務、明宮祇候、同勤務等ヲ仰付ラレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト四回

子爵 松平康民 文久元年八月生、東京府華族、舊津山藩主

正三位、勳三等

貴族院議員ニ當選スルコト四回

子爵 久留島通簡 安政六年十月生、東京府華族、舊森藩主

正三位、勳三等

貴族院議員ニ當選スルコト四回

子爵 黒田和志 嘉永四年八月生、東京府華族、舊久留里藩主

正三位、勳四等

明治十七年判事補(仙臺始審裁判所詰)ニ任シ、爾後公證人ヲ命セラリ○貴族院議員ニ當選スルコト三回

子爵 本多實方 文久二年十月生、長野縣華族、舊飯山藩主

正三位

明治十七年以降警視廳御用掛、同警部等ニ任セラレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト二回

子爵 舟橋遂賢 慶應元年六月生、京都府華族、舊公卿

正三位、勳四等

明治十五年以降宮殿勤番及殿掌等ヲ仰付ラル○貴族院議員ニ當選スルコト四回

子爵 勘解由小路資承 萬延元年九月生、神奈川縣華族、舊公卿

從三位

諸職ヲ經テ明治十六年裁判所書記ニ任シ、爾後明宮勤務、東宮侍從、大喪使祭官、明治天皇靈柩供奉等ニ歷任セリ

子爵 本多忠敬 文久三年十月生、愛知縣華族、舊岡崎藩主

從三位、勳四等

明治二十五年式部官ニ任セラリ○貴族院議員ニ當選スルコト二回

子爵 土御門晴榮

安政六年六月生、東京府華族、從三位、勳四等

洋學修業仰付ラル○明治三年大學星學局御用掛トナリ、爾後司法省十七等出仕ヲ經テ裁判所書記(静岡裁判所詰)、判事補(浦和裁判所詰)等ニ歷任セリ○貴族院議員ニ當選スルコト三回

子爵 藤谷爲寛

慶應元年五月生、京都府華族、舊公卿、從三位

明治十六年殿掌仰付ラル○貴族院議員ニ當選スルコト二回

子爵 樋口誠康

慶應元年九月生、東京府華族、舊公卿、陸軍歩兵大尉、從三位、勳四等

陸軍士官學校歩兵科卒業、陸軍戸山學校ニテ修學○明治二十一年陸軍歩兵少尉ニ任シ、爾後現官ニ進ム、其ノ間歩兵第四聯隊小隊長、歩兵第十聯隊附、臺灣守備隊分遣、歩兵第十聯隊中隊長等ニ補セラル、又明治二十七八年ノ戰役ニ從軍セリ○貴族院議員ニ當選スルコト二回

子爵 稻垣太祥

安政六年六月生、東京府華族、舊山上藩主、從三位、勳四等

明治十八年宮内省華族局御用掛ヲ命セラル○貴族院議員ニ當選スルコト四回

子爵 毛利高範

慶應二年十二月生、東京府華族、舊佐伯藩主、從三位

學修院ニテ修學、獨逸留學○明治二十四年式部官ニ任セラル

子爵 三島彌太郎

慶應三年四月生、東京府華族、舊鹿兒島藩士、日本銀行總裁、從三位、勳四等

米國留學(前後二回)○明治二十一年北海道廳技師試補ニ任シ、爾後第五回内國勸業博覽會、日本大博覽會等評議員、覽覽會開設臨時調査會、臨時治水調査會、生産調査會等委員、南滿洲鐵道株式會社、東洋殖殖株式會社等設立委員、橫濱正金銀行頭取等ニ擧ケラル○貴族院議員ニ當

選スルコト四回

子爵 東坊城徳長

明治二年五月生、京都府華族、舊公卿、御歌所參候、從三位

明治三十九年御製取調掛仰付ラル、爾後掌典ニ任セラル

子爵 松平直平

明治二年五月生、東京府華族、舊廣瀬藩主、從三位、勳四等

明治四十一年鐵道會議議員仰付ケラル、東洋殖殖株式會社監事タリ○貴族院議員ニ當選スルコト三回

子爵 松平直徳

明治二年七月生、東京府華族、舊明石藩主、從四位、勳四等

貴族院議員ニ當選スルコト三回

子爵 青木信光

明治二年九月生、東京府華族、舊麻田藩主、從四位、勳四等

明治四十四年廣軌鐵道改築準備委員會委員仰付ラル○貴族院議員ニ當選スルコト三回

子爵 冷泉爲勇

明治三年二月生、東京府華族、舊公卿、從四位

明治三年閏十月生、東京府華族、舊吹上藩主、從四位、勳四等

子爵 有馬頼之

獨國留學○貴族院議員ニ當選スルコト三回

子爵 牧野忠篤

明治三年十月生、東京府華族、舊長岡藩主、從四位、勳四等

明治四十三年以降臨時治水調査會、衆議院議員選舉法改正調査會等委員仰付ラル、又臨時博覽會評議員タリ○貴族院議員ニ當選スルコト三回

子爵 酒井忠亮

明治三年閏十月生、東京府華族、舊敦賀藩主
陸軍歩兵少尉、正四位、勳四等

明治三十一年一年志願兵トシテ近衛歩兵聯隊ニ入營ス、爾後廣軌鐵道改築準備委員會、衆議院議員選舉法改正調査會等委員仰付ラル、又臨時博覽會評議員タリ○貴族院議員ニ當選スルコト三回

子爵 永井尙敏

明治四年九月生、東京府華族、舊加納藩主
正四位、勳四等

貴族院議員ニ當選スルコト三回

子爵 本莊宗義

慶應三年二月生、東京府華族、舊宮津藩主
正四位

貴族院議員ニ當選スルコト二回

子爵 伊集院兼知

明治三年十月生、東京府華族、舊鹿兒島藩士
正四位、勳四等

明治二十九年主獵官ニ任セララル○貴族院議員ニ當選スルコト二回

子爵 堀河護麿

明治六年八月生、東京府華族
正四位、勳四等

貴族院議員ニ當選スルコト三回

子爵 五辻治仲

慶應三年十一月生、東京府華族、舊公卿
陸軍歩兵少尉、正四位、勳六等

學習院大學科卒業

子爵 前田利定

明治七年十二月生、東京府華族、舊七日市藩主
陸軍歩兵中尉、正四位、勳四等

東京帝國大學法科大學卒業○明治二十八年以降陸軍歩兵少尉、司法官試補、近衛後備歩兵第四

聯隊附、同大隊副官、同聯隊副官等ニ任補セラレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト二回
子爵 櫛笥隆督
明治八年八月生、東京府華族、舊公卿
正四位、勳八等

明治十八年内監(奏任)ニ任セララル

子爵 松平親信

明治八年十二月生、東京府華族、舊杵築藩主
正四位

學習院高等學科、東京帝國大學法科大學等卒業、同大學院修了○貴族院議員ニ當選スルコト二回

子爵 森清

明治八年十二月生、東京府華族、舊鹿兒島藩主
正四位

帝國大學文科大學卒業○貴族院議員ニ當選スルコト二回

子爵 西大路吉光

明治七年十一月生、東京府華族、舊公卿
正四位

東京帝國大學農科大學林學實科卒業○明治三十四年以降營林技手(二回)、同主事、兼大林區署書記、山林局技手兼林務官補、山林技手兼山林屬、山林技師、林務技師等ニ歷任シ、其ノ間施業按察事項審議委員、處分調査監督員、森林主事教習講師等ヲ命セラレタリ

子爵 井上匡四郎

明治九年四月生、東京府華族、舊熊本藩士
東京帝國大學工科大学教授、正四位、勳六等、工學博士

東京帝國大學工科大学卒業、大學院ニテ修學、探鑛冶金學研究ノ爲獨米二國留學○明治三十二年東京帝國大學工科大学講師トナリ、爾後同助教、大阪高等工業學校教授(兼トモ)、京都帝國大學理工科大学講師、同教授、獨逸皇族接伴員、東京大正博覽會審査官等ニ歷任シ、又御用有之韓國へ差遣ハサレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト二回

子爵 榎本武憲 明治六年一月生、東京府華族 從四位

東京帝國大學法科大學卒業○大正三年臨時博覽會評議員仰付ラル○貴族院議員ニ當選スルコト 二回

子爵 京極高備 明治六年七月生、東京府華族、舊多度津藩主 陸軍騎兵中尉、從四位、勳六等

學習院高等科卒業、同大學部ニテ修學○明治三十年陸軍騎兵少尉ニ、爾後司法屬ニ任シ、又明治二十七八年及同三十七八年ノ戰役ニ從事セリ○貴族院議員ニ當選スルコト二回

子爵 今城定政 明治十一年七月生、東京府華族、舊公卿 從四位

慶應義塾大學政治科卒業、歐洲漫遊○大正元年以降大喪使祭官(二回)、明治天皇靈柩供奉、同奉祀ニ付祭官等仰付ラレタリ

子爵 水野直 明治十二年一月生、東京府華族、舊結城藩主 從四位、勳四等

東京帝國大學法科大學卒業○大正二年教育調查會會員仰付ラル○貴族院議員ニ當選スルコト二回

子爵 吉田清風 明治十二年五月生、東京府華族、舊鹿兒島藩士 從四位

學習院高等科卒業、東京帝國大學法科大學ニテ修學

子爵 本多忠鋒 明治十二年八月生、東京府華族、舊神戸藩主 從四位

學習院大學科卒業

子爵 豐岡圭資 明治十三年二月生、京都府華族、舊公卿 從四位

東京帝國大學文科大學卒業○大正三年大喪使祭官仰付ラル

子爵 藪篤麿 明治十三年二月生、東京府華族、舊公卿 從四位、勳六等

明治二十三年侍從職出仕ニ、同三十一年主獵官ニ任セラル

子爵 秋月種英 明治十三年三月生、宮崎縣華族、舊高鍋藩主 從四位

京都帝國大學法科大學卒業○明治四十三年司法屬ニ任セラル

子爵 伊東祐弘 明治十三年三月生、東京府華族、舊飯肥藩主 從四位

東京帝國大學法科大學卒業、歐米漫遊

子爵 片桐貞央 明治十三年四月生、東京府華族、舊小泉藩主 從四位

東京帝國大學法科大學卒業

子爵 松平乘長 明治元年十月生、東京府華族、舊岩村藩主 從四位

學習院ニテ修學、東京美術學校日本畫科卒業○貴族院議員ニ當選スルコト二回

子爵 野村益三 明治八年三月生、東京府華族、舊山口藩 從四位

東京帝國大學農科大學農學撰科修了、獨逸留學○明治三十八年和歌山縣立粉河中學校教諭ニ任シ、爾後愛知縣立第五中學校、神奈川縣立第四中學校等教諭ニ歷任セリ

子爵 池田政時 明治五年八月生、東京府華族、舊生牧藩主

從四位

學習院、東京帝國大學等ニテ修學、米國留學

子爵 丹羽長徳 明治六年八月生、東京府華族、舊二本松藩主

從四位

學習院ニテ修學、又農學ヲ修ム

子爵 立花種忠 明治十三年一月生、東京府華族、舊三池藩主

陸軍騎兵少尉、從四位

學習院、明治大學等ニテ修學

●男爵

男爵 赤松則良

天保十二年十一月生、靜岡縣華族、舊靜岡藩士

海軍中將、從二位、勳一等

明治三年兵部省、民部省等出仕、海軍兵學大教授等ニ任セラレ、爾後兵部少丞、同大丞、海軍大丞、主船頭、臺灣蕃地事務參軍、海軍省副官、議定官、佐世保、權須賀各鎮守府司令長官等ニ歴任シ、又海軍將校以下勳功調査、海軍會議職制章程取調等ノ委員、造船會議、兵器會議等ノ議長、國防會議、將官會議等ノ議員、各種ノ試験委員長等ヲ仰付ラル、又龍驤、日進兩艦へ乗組外國へ、又埃國博覽會へ差遣ハサレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト三回

男爵 千家尊福

弘化二年八月生、島根縣華族、舊出雲國造

正三位、勳一等

明治五年以降出雲大社大宮司、神道西部管長、大社教管長、元老院議員、文部省普通學務局長、

靜岡縣、東京府等各知事、司法大臣等ニ歴任シ、又法典調査會、港灣調査會、博覽會開設臨時調査會等各委員、南滿洲鐵道株式會社設立委員、法律取調委員會會長、日本大博覽會評議員等ヲ仰付ラレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト四回

男爵 堤 正 誼

天保五年十一月生、東京府華族、舊福井藩士

宮中顧問官、正三位、勳一等

明治二年福井藩權大參事ニ任シ、爾後侍從、同番長、宮内權大丞(少丞トモ)、同大書記官(權トモ)、兼皇太后宮亮、調度局長(兼トモ)、兼大膳亮、内匠頭(前後二回)、兼御料局長官(代理トモ)、兼閑院宮別當、兼大喪使事務官、宮内次官、兼東宮御所御造營局長等ニ歴任シ、其ノ間山階宮、東伏見宮、有栖川宮、小松宮等御家事取締其ノ他宮中ニ關スル各種ノ御用掛、委員等ヲ仰付ラレタルコト少ナカラス、又維新史料編纂會委員タリ

男爵 有地品之允

天保十四年三月生、山口縣華族、舊山口藩士

海軍中將、正三位、勳二等

明治四年陸軍少佐、御親兵大隊長、侍從ニ任シ、爾後海軍少佐ヨリ果進シテ現官ニ至リ、其ノ間東海兵本營長、軍事部部長、參謀本部海軍部第一局長、橫須賀軍港司令官、海軍參謀部長、常備艦隊司令長官(二回)、吳鎮守府司令長官等ニ歴任シ、富士山、日進、比叡等諸艦長、士官教育法取調委員、海軍機關學校長、同兵學校長、橫須賀鎮守府軍法會議判士等ヲ仰付ラル、又朝鮮、臺灣等へ出張仰付ラレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト三回

男爵 中川興長

嘉永六年十月生、東京府華族、舊奈良興福寺中五大院住職

正三位、勳四等

明治元年復飾、春日、石上、大和、大神、廣瀨等諸神社ノ神職又ハ宮司ニ任セラレ、爾後淑子内親王家祇候、京都宮殿勤番、殿掌等ニ歴任セリ○貴族院議員ニ當選スルコト四回

男爵 杉溪言長

慶應元年閏五月生、京都府華族、舊奈良興福寺中妙徳院住職
正三位、勳四等

貴族院議員ニ當選スルコト四回

男爵 沖原光孚

嘉永元年三月生、山口縣華族、舊岩國藩士
陸軍中將、從三位、勳一等、功三級

戸山學校卒業○明治四年山口藩一番大隊中尉ニ、爾後陸軍大尉ニ任シ、現官ニ累進ス、其ノ間御親兵、東京鎮臺等ノ諸般大隊附、東京鎮臺第二聯隊附、同副官、同第一、第三等大隊第三中隊長、別働第一旅團、大阪鎮臺歩兵第十聯隊、近衛歩兵第一聯隊等大隊長(心得トモ)、陸軍省人員局次長、總務局課長(三回)、軍法會議判士長(二回)、軍事參議官所屬事務取扱、第二師團參謀長、教導團長、歩兵第十三聯隊長、歩兵第一、第四、第八等各旅團長、第十一、留守第五、第十五等各師團長等ニ任補セラレ、西南、日清、日露ノ各戰役ニ從軍ス、又陸軍ニ關スル各種ノ委員仰付ラレタリ

男爵 原口兼濟

弘化四年二月生、東京府華族、舊森藩士
陸軍中將、從三位、勳一等、功三級

陸軍兵學寮青年學舎ニテ修學○明治五年陸軍少尉ニ任シ、現官ニ累進ス、其ノ間五番大隊附、東京鎮臺歩兵第一聯隊大隊副官、陸軍士官學校附、同生徒大隊第一中隊長、同生徒司司令官、同生徒検査官、大尉勤務、征討軍團附、遊撃歩兵第三大隊第一中隊長心得、歩兵第三聯隊第三大隊長、檢閱使屬員(二回)、陸軍戸山學校次長、同校長(二回)、近衛歩兵第一聯隊長、第四師團、教育總監部等各參謀長、歩兵第二十、臺灣守備混成第一、歩兵第十七等各旅團長、留守第一、第十三等各師團長、駐劄軍司令官、大本營附等ニ歴任シ、西南、日清、日露ノ各戰役ニ從軍シ、砲兵會議臨時議員、其ノ他陸軍ニ關スル各種ノ委員長、委員ニ擧ケラル、又御用有之獨逸へ差遣ハサレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト二回

男爵 山名義路

萬延元年十一月生、京都府華族、舊村岡藩主
陸軍輜重兵少佐、從三位、勳五等

教導團卒業、陸軍士官學校ニテ修學○明治四年村岡藩知事ニ、爾後陸軍歩兵伍長、軍曹ヲ經テ歩兵少尉ニ任シ、更ニ輜重兵少尉トナリ、現官ニ累進ス、其ノ間廣島鎮臺附、歩兵第五聯隊附、軍法會議判士、輜重兵第一、第三、第五等大隊附、第一軍管理部附、同第三大隊中隊長、第一師團衛生豫備隊長等ニ任補セラレ、又日清、日露ノ各戰役ニ從軍セリ

男爵 北島齊孝

文久三年七月生、島根縣華族
從三位

明治十五年以降出雲大社權宮司(前後二回)、同禰宜等ニ任補セラレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト二回

男爵 阪井重季

弘化三年十一月生、東京府華族、舊高知藩士
陸軍中將、正四位、勳一等、功三級

獨逸渡航○諸職ヲ經テ明治四年陸軍歩兵大尉ニ任シ、現官ニ累進ス、其ノ間近衛六番大隊副官、廣島鎮臺地方司令官心得、同歩兵第二十四、同第十二聯隊第一等大隊長、同歩兵第十一、熊本鎮臺歩兵第十三、名古屋鎮臺歩兵第十七、近衛歩兵第二等聯隊長、名古屋鎮臺衛戍司令官、同軍法會議判士長、近衛歩兵第二、第十等旅團長、留守第一、後備第一等師團長ニ任補セラレ、又西南、日清、日露ノ各戰役ニ從軍セリ

男爵 内田正敏

嘉永四年四月生、高知縣華族、舊高知藩士
海軍中將、正四位、勳二等、功四級

海軍兵學寮ニテ修學○明治九年海軍少尉補ニ任シ、爾後現官ニ累進セリ○貴族院議員ニ當選スルコト三回

男爵 肝付兼行

嘉永六年三月生、東京府華族、舊鹿兒島藩士
海軍中將、正四位、勳二等

第二編 現在議員略履歴(男爵)

兵部、海軍兩省ノ出仕ヲ經テ、明治五年海軍中尉ニ任シ、現官ニ累進ス、其ノ間水路寮出勤、水路局測量課、圖誌課、量地課等課長(副、兼トモ)、水路部測量長、科長、水路部長(心得トモ三回)、陸軍大學校兵學教官、同兵要地學教授、兼海軍大學校長、高等捕獲審檢所評定官等ニ任補セラル、又大阪市長、博覽會評議員、帝國議會ノ政府委員、其ノ他各種ノ委員ニ舉ケラレタリ

男爵 藤井包總

嘉永三年正月生、東京府華族、舊福山藩士
陸軍中將、正四位、勳一等、功四級

土工兵修業申付ラル○明治四年陸軍少尉ニ任シ、現官ニ累進ス、其ノ間工兵科附、教導團工兵第一大隊計官、同副官、近衛工兵小隊長、東京鎮臺工兵大隊附、同第一大隊長(心得トモ)、士官學校學科提理(副トモ)、同生徒檢査官(二回)、幼年學校長(取扱トモ)、工兵會議議員(兼トモ)、參謀本部副官部御用取扱兼勤、陸地測量部長(心得トモ)、同三角科長及留守參謀部各事務取扱等ニ任補セラレ、西南ノ役ニ從軍ス、又工兵内務書取調、輜重輪卒編制取調、工兵器具圖彙審查、陸軍大學校大試驗(二回)、土木會等委員ニ舉ケラレタリ

男爵 太秦供康

慶應二年十月生、東京府華族、
陸軍步兵少佐、正四位、勳四等、功四級

明治二十一年陸軍步兵少尉ニ任シ、現官ニ累進ス、其ノ間步兵第八聯隊小隊長、同第三十七聯隊中隊長、同第四十九聯隊大隊長、後備第七聯隊、少兵第一聯隊、同第八聯隊、同第三十七聯隊等隊附、皇族附武官、陸軍省出仕(兼トモ三回)、同御用掛兼勤、元帥、東京衛戍總督部(心得トモ)、天長節觀兵式諸兵指揮官等副官、第四師管軍法會議判士(二回)、第一師管軍法會議判士長、和歌山聯隊區簡閱點呼執行官等ニ任補セラレ、臺灣土匪討伐、樺太出征等ニ從ヒ、又被服、裝具、陣具及携帶糧食改良審查委員ヲ命セラレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト二回

男爵 山内長人

嘉永三年九月生、東京府華族
陸軍中將、正四位、勳一等、功四級

戸山學校ニテ修學○諸職ヲ經テ明治五年陸軍中尉ニ任シ、現官ニ累進ス、其ノ間步兵大隊、陸軍省、參謀本部等副官(次、心得、兼トモ數回)、兵學寮附、戸山學校附、同教官(兼トモ)、陸軍省官房御用兼勤、同人事課長、新選旅團附兼勤、同第二大隊長心得、同殘務取調、參謀本部管東局員、熊本鎮臺、中部監軍部、近衛等參謀、士官學校次長、幼年學校長、高等軍法會議判士長、步兵第十八、留守近衛步兵第二等旅團長、憲兵司令官、留守第一師團長等ニ任補セラレ、西南ノ役ニ從軍シ、又將校生徒試驗、勳功調査委員ニ舉ケラレ、清國威海衛及朝鮮へ差遣ハサレタリ

男爵 勝田四方藏

弘化二年十一月生、兵庫縣華族
陸軍中將、正四位、勳一等、功三級

明治四年陸軍大尉、兵部權大録等ニ、爾後陸軍權大録ヨリ更ニ陸軍中尉ニ任シ、現官ニ累進ス、其ノ間築造局分課、第四局第二課長(分課及心得トモ)、征討總督幕僚兼第六經營部司令官、征討軍團、西部監軍部、陸軍始飾隊式諸兵等傳令使、出征第三旅團、西部、中部各監軍部、露國東洋海陸軍總督御誘引觀兵式諸兵等參謀、工兵會議議員兼勤、同議長、工兵第一、第二等方面提理、同方面本署長、建築法審査委員、第二軍工兵部長、下ノ關(二回)、東京灣等要塞司令官、留守第十二師團長、第十二師團司令部附等ニ任補セラル、又黒田特命全權辦理大臣ニ隨行及御用有之執モ朝鮮へ差遣ハサレタリ

男爵 黒瀬義門

弘化三年正月生、岡山縣華族
陸軍中將、正四位、勳一等、功四級

兵學寮青年舎ニテ修學○明治四年見習士官ヨリ陸軍少尉ニ任シ、現官ニ累進ス、其ノ間大阪鎮臺砲兵隊、一番二番砲隊(給養係)、砲兵一番小隊等隊附、砲兵第七大隊副官、砲兵第四大隊、野

砲兵第二大隊等中隊長(數回)、山砲兵第四、東京鎮臺第一等大隊長、東京鎮臺砲兵第六聯隊長、秋季大砲射的演習、臨時下ノ關守備隊、臺灣守備軍等司令官、砲兵射的學校長、砲工學校長(事務取扱トモ)、砲兵會議議員兼勸(臨時トモ)、同議長事務取扱、第二軍砲兵部長、野戰、要塞等砲兵監、臨時兵器検査官、留守第七師團長、第七師團司令部附等ニ任補セラレ、佐賀、山口、鹿兒島等賊徒征討及日清戰役ニ從軍、又砲兵生徒概則及武裝法改正取調、砲兵照準法取調等委員、將校生徒試驗常置、戰利品整理、乘馬隊下士卒用馬具制式改正、要塞戰用器材調査等委員長、帝國在郷軍人會副會長等ニ舉ケラレタリ

男爵 梨羽時起

嘉永三年八月生、山口縣華族
海軍中將、正四位、勳二等、功三級

海軍操練所ニテ修學○諸職ヲ經テ、明治十三年海軍中尉ニ任シ、現官ニ累進ス、其ノ間富士山、肇敏、筑波等諸艦乗組、肇敏、天龍(二回)、第二丁卯、筑紫、金剛等諸艦分隊長、天龍、筑波、葛城、千代田等諸艦副長(兼、心得トモ)、海軍兵學校運用術教官、同監事長、鎮守府軍法會議判士、判士長(數回)、赤城、天城、海門、葛城、金剛、秋津洲、橋立、鎮遠、高砂、常磐、初瀨等諸艦長(心得トモ)、吳水雷隊攻撃部司令、同海兵團長、同艦政部長及豫備艦部長代理、吳、橫須賀、佐世保等ノ港務部長兼豫備艦部長、常備艦隊、第一艦隊、旅順口鎮守府艦隊、馬公要港部等司令官、海軍將官會議議員、同懸賞射擊委員等ニ任補セラレ、屢々海外ニ廻航ス、又日清、日露ノ各戰役ニ從軍セリ

男爵 眞鍋斌

嘉永四年二月生、山口縣華族、舊山口藩士
陸軍中將、正四位、勳一等、功二級

陸軍青年學舍卒業○諸職ヲ經テ、明治五年陸軍少尉ニ任シ、現官ニ累進ス、其ノ間教導生附、教導團歩兵第一大隊附、兵學寮戶山出張所附(戶山學校教官)、第一局第三課長心得(出仕トモ)、

召集壯兵及遊擊隊ノ取締、遊擊歩兵第三大隊第二中隊長等兼勸、總務局、軍務局等諸般課長(兼、心得トモ)、演習審判官陪從、兼東部監軍部參謀、兼戶山學校次長心得、歩兵第三聯隊長、特別大演習審判官、第四師團參謀長、兼參謀本部第一局御用取扱(二回)、明治二十七八年戰役大本營陸軍大臣副官兼軍事內局局員、陸軍副官、軍事參議官所屬、元軍事內局等事務取扱、歩兵第九旅團長、留守第五師團長(兼トモ)、第五師團司令部附等ニ任補セラレ、西南ノ役、北清事變等ニ從軍ス、又法則、憲兵諸規則、服制等取調掛其ノ他陸軍ニ關スル諸種ノ委員ニ舉ケラレタリ

男爵 新田忠純

安政三年十月生、群馬縣華族、新家(上野國新田郡)
正四位、勳四等

大阪陸軍幼年學舍ニテ修學、佛國留學○明治十五年外務省公信局御用掛ヲ命セラレ、又佛國及獨逸國へ渡行セリ○貴族院議員ニ當選スルコト三回

男爵 南岩倉具威

明治二年六月生、東京府華族、舊公卿
正四位、勳四等

英國ニ留學シ學位ヲ得○明治三十三年內務大臣秘書官ニ任シ、又鐵道國有調査會、臨時治水調査會等委員ニ舉ケラレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト三回

男爵 伊東義五郎

安政五年五月生、東京府華族
海軍中將、正四位、勳二等、功三級

海軍兵學寮、佛國水雷士官學校等卒業、中尉ノ資格ニテ佛國海軍ニ執職ス○明治十一年海軍少尉補ニ任シ、現官ニ累進ス、其ノ間乾行、龍驤、淺間(砲術教授、副長代理トモ)等諸艦乗組、艦隊操練傳習、兵學校砲術科僚兼務、海軍省軍事部出勤、同軍務局第一課課僚、同主事、參謀本部海軍部、海軍參謀本部等ノ出仕、海軍參謀部第三課員、同部員、大演習審判官陪從、高千穂砲術長、艦隊軍法會議主理、東京軍法會議判士、佐世保軍法會議判士長、迅鯨副長心得、比

叡、大和、葛城、高千穂等諸艦副長、兼技術會議、將官會議等議員、常備艦隊、海軍大演習第一期防禦軍及第二期攻擊軍等參謀、西海艦隊參謀長、佐世保水雷隊放擊部司令、常備艦隊、海軍大演習艦隊編制中第一艦隊、竹敷要港部等司令官、明治二十七八年戰役大本營海軍大臣副官、佛國公使附兼造船兵監督官(二回)、海軍佛國留學生監督、敷島艦長、橫須賀鎮守府艦政部長、同海軍工廠長、同司令官代理等ニ任補セラレ、日清戰役ニ從軍シ、屢々海外ニ廻航ス、又海軍ニ關スル各種ノ委員及委員長等ニ舉ケラレ、御用有之佛獨兩國へ及第七回萬國海事會議へ參列ノ爲委員トシテ白耳義へ執モ差遣ハサレタリ

男爵 宮原二郎

安政五年七月生、靜岡縣華族、舊靜岡藩士、海軍機關中將、正四位、勳二等、功三級、工學博士

海軍兵學寮ニテ修學、機關學修業ノ爲英國留學申付ラル○明治十六年海軍省御用掛ヨリ海軍中機關士、大機關士等ニ任シ、爾後海軍權少匠司、同四等技師、同少技監、大技監、同造艦大監、同機關總監(後機關少將)、兼工科大學教授(講師トモ)等ニ歷任シ、其ノ間主船、艦政兩局機關課僚(數回)、艦政局機關課長(殘務取扱トモ)、橫須賀鎮守府造船部諸科主幹(心得トモ)、造船監督官、臨時建築部、艦政本部等部員(兼トモ)、軍務局御用取扱、同造船課僚(課長代理トモ)、艦政本部第四部長、造船、技術等會議議員兼勤(數回)等ニ任補セラレ、海軍ニ關スル諸種ノ委員及委員長等ニ舉ケラル、又御用有之歐洲へ及二回英國へ執モ出張仰付ラレタリ

男爵 平野長祥

明治二年十二月生、東京府華族、舊田原本藩士、正四位、勳四等

貴族院議員ニ當選スルコト二回

男爵 辻健介

安政六年六月生、東京府華族、舊廣島藩士、正四位、勳四等

明治十七年千葉縣御用掛ヲ命セラル○貴族院議員ニ當選スルコト三回

男爵 中溝德太郎

安政四年十二月生、東京府華族、舊佐賀藩士、海軍中將、正四位、勳二等、功三級

海軍兵學寮ニテ修學○明治十一年海軍少尉補ニ任シ、現官ニ累進ス、其ノ間富士山、龍巖、攝津、迅鯨等諸艦乗組、龍巖、金剛、葛城(東京丸兼務)、大和等諸艦分隊長、東海水兵本營兼務、艦政局兵器課課僚(殘務取扱トモ)、大演習審判官陪從(二回)、同審判官、浪速水雷長、八重山、千代田、秋津洲等諸艦副長、橫須賀水雷隊布設部、旅順口水雷敷設隊等司令(心得トモ)、兼技術會議議員、橫須賀軍法會議、臨時軍法會議等判士長、東京軍法會議判士、愛宕、敷島等各艦長、臨時招魂祭參拜大隊長、臨時建築部支部長(殘務取扱トモ)、舞鶴水雷團長兼勤(二回)、舞鶴、吳等鎮守府參謀長、舞鶴鎮守府艦政部長代理、同海軍港務部長兼豫備艦部長、同海軍工廠長、英國駐在、同駐在員監督、常備艦隊司令官、軍務局長兼將官會議議員(二回)等ニ任補セラレ、屢々海外ニ廻航シ、日清戰役ニ從軍ス、又軍艦出雲後部ケブスリン折損事件查問委員長、其ノ他海軍ニ關スル各種ノ委員ニ舉ケラレタリ

男爵 山内豐政

明治四年四月生、東京府華族、舊高知藩分家、陸軍歩兵少尉、正四位、勳四等

學習院、和佛法律學校等ニテ修學○貴族院議員ニ當選スルコト二回

男爵 吉川重吉

安政六年十二月生、東京府華族、舊岩國藩分家、宗秩寮審議官、正四位、勳四等

米國留學○明治十七年以降外務省御用掛、條約改正掛、交際官試補、外務省參事官、公使館書記官(伯林在勤)等ニ歷任シ、井上特派全權大使ニ隨行朝鮮へ差遣ハサル、又議院建築調査會、議院建築準備委員會、教科用圖書調査委員會等委員ニ舉ケラル○貴族院議員ニ當選スルコト四回

男爵 小早川 四郎

明治四年七月生、東京府華族、舊山口藩士
正四位、勳四等

獨國留學○貴族院議員ニ當選スルコト三回

男爵 生駒 親忠

明治四年七月生、東京府華族、舊矢島藩主
正四位、勳四等

學習院ニテ修學、又法律學ヲ修ム○貴族院議員ニ當選スルコト二回

男爵 竹腰 正己

明治四年八月生、岐阜縣華族、舊今戶藩主
正四位

米國留學、法律學士ノ稱號ヲ受ク

男爵 神田 乃武

安政四年二月生、東京府華族
東京高等商業學校教授、正四位、勳三等

米國留學學位ヲ受ク、更ニ英、獨二國留學ヲ命セラル○明治十三年東京大學豫備門教員トナリ、爾後同豫備門教諭、兼法學部理學部准講師、同文學部、圖書館事務、御用掛(理、文學部講師)等兼務、第一高等中學校教授(兼トモ)、文科大學教授(兼トモ)、同講師(三回)、兼東京高等女學校教諭、同英語科教授囑託、文部大臣官房圖書課兼勤、東京高等商業學校教授(兼トモ)、同校長心得、兼外國語學校教授、同主事、同校長(心得トモ)、學習院教授等ニ歷任シ、其ノ間學術學務ニ關スル各種ノ委員タルコト頗ル多ク、曾テ佛國巴里萬國博覽會ノ狀況視察ヲ囑託セラレ、同開催ノ商工實業教育萬國會議ニ委員トシテ參列仰付ラル、又御用有之米國へ差遣ハサレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト二回

男爵 青山 元

安政四年八月生、東京府華族、舊福井藩主
正四位、勳四等

駒場農學校卒業○諸職ヲ經テ明治十六年農商務六等屬ニ任シ、農商務屬トナリ、爾後農商務六

等技手、同五等技手、同技師試補、第三回內國勸業博覽會事務官、農商務技師(兼トモ前後五回)、農事試驗場技師(前後二回)、同德島支場長、西ヶ原蠶業試驗場試驗監督、農業教員養成方取調、牧場監督官(兼トモ)、馬匹調査會幹事、第五回勸業博覽會審査官等ニ歷任シ、東洋拓殖株式會社設立委員ニ舉ケラル、又御用有之歐洲各國へ差遣ハサレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト二回

男爵 毛利 五郎

明治四年十月生、東京府華族、舊山口藩分家
正四位、勳四等

英國留學○貴族院議員ニ當選スルコト三回

男爵 藤大路 親春

明治六年二月生、東京府華族、舊奈良興福寺住職
正四位、勳四等

學習院高等科卒業○明治三十一年以降千葉縣、東京府等ノ屬ニ任セラル○貴族院議員ニ當選スルコト二回

男爵 若王子 文健

明治六年十月生、東京府華族、舊公卿
從四位、勳四等

學習院高等科、東京帝國大學法科大學卒業○明治三十三年東京府屬ニ任シ、爾後日本大博覽會評議員仰付ラル、又臨時博覽會評議員タリ○貴族院議員ニ當選スルコト二回

男爵 徳川 厚

明治七年二月生、東京府華族、舊靜岡藩分家
從四位、勳四等

學習院ニテ修學○貴族院議員ニ當選スルコト二回

男爵 千秋 季隆

明治八年十月生、愛知縣華族、舊尾張國造
從四位、勳四等

學習院高等科、東京帝國大學文科大學等卒業○明治三十四年東京帝國大學附屬圖書館圖書目錄

第二編 現在議員略履歴(男爵)

編纂ヲ囑託セラル、又爾後學習院教授ニ任セラレタリ○貴族院議員ニ當選スルコト二回
男爵 北大路實信 明治二年十二月生、東京府華族、舊興福寺中東北院住職
從四位、勳四等

明治二十八年以降稅關屬、稅關事務官捕ニ任セララル、又東京築港ニ關スル貨物調査ヲ囑託セラ
レタリ○貴族院議員ニ當選スルコト二回

男爵 眞田幸世 明治三年二月生、東京府華族、舊松代藩分家
從四位、勳四等

歐米漫遊○貴族院議員ニ當選スルコト三回

男爵 尙 順 明治六年四月生、沖繩縣華族
從四位、勳四等

貴族院議員ニ當選スルコト二回

男爵 安場末喜 安政五年五月生、東京府華族、舊熊本藩士
從四位、勳四等

慶應義塾ニテ修學、明治廿三年製紙業研究ノ爲米國へ留學ヲ命セララル○明治十九年印刷局技手
ニ任シ、爾後臺灣總督府製紙事業取調事務ヲ囑託セラレ嘉義模範製紙場主幹ヲ命セララル、又製
紙業取調ノ爲清國福建、浙江、江蘇三省及英領香港へ出張ヲ命セラレタリ○貴族院議員ニ當選
スルコト二回

男爵 坪井九八郎 明治九年八月生、東京府華族、舊山口藩士
從四位

京都帝國大學法科大學卒業○貴族院議員ニ當選スルコト二回

男爵 伊丹春雄 安政五年十二月生、東京府華族
從四位

貴族院議員ニ當選スルコト二回

男爵 長松篤業 元治元年四月生、東京府華族、舊山口藩士
從四位、勳四等

學習院、帝國大學等ニテ修學、獨逸留學○明治二十年學習院教授ニ任セララル○貴族院議員ニ當
選スルコト二回

男爵 本田親濟 元治元年六月生、東京府華族、舊鹿兒島藩士
從四位

札幌農學校、帝國大學法科大學(選科)等ニテ修學、英國留學○明治二十四年式部官ニ任シ、爾
後遞信省歐米各國郵便爲替貯金制度取調ヲ囑託セラレタリ

男爵 神山郡昭 安政二年二月生、東京府華族、舊高知藩士
從四位

英、漢學ヲ修ム

男爵 楠本正敏 慶應二年十月生、東京府華族、舊大村藩
從四位

貴族院議員ニ當選スルコト二回

男爵 本多政以 元治元年十月生、石川縣華族、舊金澤藩士
從四位、勳四等

明治四十四年廣軌鐵道改築準備委員會委員仰付ラル○貴族院議員ニ當選スルコト二回

男爵 島津隼彥 明治十二年八月生、鹿兒島縣華族、舊鹿兒島藩分家
從四位

學習院高等學科卒業、帝國大學法科大學ニテ修學

男爵 福原俊丸 明治九年八月生、山口縣華族、舊山口藩士
從四位、勳五等

第二編 現在議員略履歴(男爵)

第二編 現在議員略履歷(男爵)

三百九十六

東京帝國大學工科大學卒業、京都帝國大學大學院ニテ修學○明治三十五年京都帝國大學理工科大學講師ヲ囑託セラレ、爾後東京砲兵工廠備員、大藏省臨時建築部技師、大藏省技師等ニ歴任シ、其ノ間東京勸業博覽會審査囑託、通風暖房及船舶ニ關スル仕様書改正調査委員等ニ舉ケラル、又御用有之歐洲及米國ヘ孰モ差遣ハサレ、大藏省臨時建築課事務ヲ囑託セララル

男爵 清水資治 萬延元年六月生、山口縣華族
從四位、勳四等

男爵 津田弘道 明治三年五月生、東京府華族
從四位

男爵 尾崎麟太郎 獨逸學協會學校普通科卒業、獨逸國留學○明治三十二年東宮御所御造營局御用掛仰付ラル
元治元年八月生、東京府華族、舊高知藩士
從四位

東京帝國大學法科大學(選科)ニテ修學○明治十六年裁判所書記ニ任シ、前橋始審裁判所詰ヲ命セラル

男爵 黒田長和 明治十四年一月生、東京府華族、舊福岡藩分家
從四位

男爵 島津久賢 學習院高等學科卒業、帝國大學法科大學ニテ修學、英國留學○明治三十二年東宮職出仕仰付ラル
早稻田大學卒業、英國留學
明治十四年四月生、鹿兒島華族、舊加治木領主
從四位

男爵 岩倉道俱 明治十四年五月生、東京府華族、公爵岩倉家分家
從四位

學習院高等學科卒業、東京帝國大學文科大學ニテ修學、歐米漫遊

男爵 安藤直雄 明治十五年一月生、東京府華族、舊田邊藩主
正五位

男爵 二條正麿 學習院高等科ニテ修學○貴族院議員ニ當選スルコト二回
明治五年一月生、東京府華族、公爵二條家分家
正五位

男爵 郷誠之助 學習院高等學科、東京帝國大學法科大學等卒業、同大學院修了○明治四十七年司法官試補、東京區裁判所檢事代理ヲ命セラル○貴族院議員ニ當選スルコト(二回)
慶應元年正月生、東京府華族
正五位

東京帝國大學法科(選科)ニテ修學、獨逸國留學「ドクトル、フキロソフキエ」ノ學位ヲ受ク○明治二十五年農商工ニ關スル事項取調ヲ囑託セララル
慶應三年二月生、三重縣華族、伯爵藤堂家分家
正五位

男爵 藤堂高成 明治二十七年神宮皇學館舍監兼助教授ヲ命セラル

男爵 東郷安 明治十五年七月生、東京府華族、舊福井藩
正五位

東京帝國大學法科大學卒業、大學院ニテ修學

勅選

男爵 岩村通俊 天保十一年六月生、東京府華族、舊高知藩
錦鷄間祇候、正二位、勳一等

第二編 現在議員略履歷(勅選)

三百九十七

明治元年、御親兵總取締軍監等ニ任シ、爾後聽訟司判、函館府權判事、開拓判官、同大判官、佐賀縣權令、工務省出仕、四等判事、山口裁判所長、鹿兒島縣令、議官、會計検査院長、沖繩縣令、恩給局長、司法大輔、北海道廳長官、元老院議官、農商務次官、農商務大臣、宮中顧問官、御料局長等ニ歷任セリ。○明治二十三年貴族院議員ニ勅任セララル

松岡康毅、弘化三年六月生、東京府平民、舊德島藩、從二位、勳一等

明治四年司法權大録ニ任シ、爾後大録、權少判事、少判事、六等判事、司法權大書記官、同大書記官、大審院局長、東京控訴院長、檢事總長、內務次官(前後二回)、行政裁判所長官、農商務大臣等ニ歷任シ、其ノ間東京、神戸等ノ裁判所長、廣島控訴裁判所長、兼任臨時檢事局長官、各種ノ委員、會員、委員長タルコト頗ル多ク、又帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト前後二回、御用有之歐洲へ差遣ハサレタリ。○明治廿四年貴族院議員ニ勅任セララル

伊藤雋吉、天保十一年三月生、京都府華族、舊舞鶴藩、海軍中將、從二位、勳一等、功三級

明治二年海軍操練所出仕トナリ、爾後兵學中助教、海軍少佐、春日、筑波、金剛等ノ艦長、日進艦副長、兵學校監學課長、兵學校長代理、同次長、同校長、軍律改定取調掛兼務、兼任參事院員外議官補、海軍兵學校長、共同運輪會社長、橫須賀造船所長、兼橫須賀鎮守府次官、國防會議議員、艦政局長、購買委員長、兼將官會議議員、兼海軍督買部長、將官會議幹事、海軍次官代理、海軍參謀部長、海軍省第二局長、海軍次官、兼海軍省軍務局長、海軍高等捕獲審檢所評定官、海軍軍令部御用取扱、武功調査委員、兼任主理、海軍省司法部長等ニ歷任シ、副島全權大使清國派遣ニ付隨行、米國桑港へ回航、浦潮斯德航海、歐洲行等ヲ命セララル、海軍ニ關スル委員及委員長タルコト頗ル多ク、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト前後十一回。○明治三十二年貴族院議員ニ勅任セララル

男爵 尾崎三良

天保十三年正月生、東京府華族、舊公卿家臣、宮中顧問官、從二位、勳一等

南米漫遊。○明治五年英國留學生徒總代ヲ命セラレ、代領事ニ任シ、爾後太政官出仕、制度取調御用掛、四等議官、職制章程取調掛、國憲編纂掛、政體取調御用掛、法制官、圖書權頭、內務權大丞、宮内大書記官、法制局主事、外務一等書記官(露國在勤)、太政官大書記官、參事院議官、元老院議官、法制局長官等ニ歷任シ、宮内省御用掛、內規取調、法律取調、帝室制度取調、法典調査會查定、法典調査會等ノ委員ヲ仰付ラル、又參事院ノ審理委員タルコト四回、元老院ニ於ケル內閣委員タルコト七回、帝國議會ノ政府委員タルコト四回、維新史料編纂會委員タリ。○明治二十三年貴族院議員ニ勅任セララル

男爵 岡内重俊

天保十三年四月生、東京府華族、舊高知藩士、錦鷄間祇候、從二位、勳二等

明治二年鞠獄司判事、徵士鞠獄司知事、刑部大解部、同少判事等ニ任セラレ、爾後刑部中判事、司法少判事、同權中判事、同中檢事、同權大檢事、判事(勅任)、元老院議官等ニ歷任シ、其ノ間東京及大阪上等級判所、大審院詰、長崎上等級判所長等トナル、又法律諮問會員タルコト三回、高等法院陪席裁判官タルコト五回、議院建築調査委員ニ舉ケラル、又佐々木理事官ニ隨ヒ歐米諸國ヲ巡行セリ。○明治二十三年貴族院議員ニ勅任セララル

男爵 野村素介

天保十三年五月生、山口縣華族、舊山口藩、錦鷄間祇候、從二位、勳一等

明治元年山口藩參政兼公議人トナリ、同二年山口藩權大參事ニ任シ、海外視察仰付ラレ、爾後茨城縣參事、文部大丞、教部大丞、大督學、文部大書記官、元老院大書記官、議官等ニ歷任シ、又亞細亞大博覽會組織取調委員、第三回內閣勸業博覽會審査官、第四回同會評議員等ヲ仰付ラレタリ。○明治二十三年貴族院議員ニ勅任セララル

山

協 玄

嘉永二年三月生、東京府士族、舊福井藩
從二位、勳一等、法學博士

獨逸留學仰付ラル ○明治十年司法省御用掛(民法編纂掛)トナリ、爾後司法兼太政官權少書記官、參事院議官補、法制局參事官、兼臨時帝國議會事務局書記官、法制局部長、行政裁判所評定官(同部長)、同長官等ニ歷任シ、御用有之獨逸へ差遣ハサル、又元老院ニ於ケル内閣委員タルコト四回、參事院ニ於ケル審理委員タルコト二回、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト一回、文官高等懲戒委員及同豫備委員タルコト數回 ○明治二十四年貴族院議員ニ勅任セラル

子爵 平田 東助

嘉永二年三月生、東京府華族、舊米澤藩
正三位、勳一等、法學博士

露、獨二國留學 ○明治三年大學南校大舍長トナリ、爾後大藏兼太政官權少書官、三等検査官、大藏兼太政官大書記官、參事院議官補、兼參事院書記官、法制局參事官、同部長、臨時内閣書記官長心得、樞密院書記官長、樞密顧問官、法制局長官、農商務大臣、内務大臣等ニ歷任シ、伊藤參議ニ隨ヒ歐洲へ差遣ハサル、又參事院ニ於ケル審理委員タルコト二回、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト三回、海灣調査會、國勢調査準備委員會等會長、臨時政務調査委員其ノ他諸種ノ委員、委員長タルコト頗ル多シ、濟生會副會長タリ ○明治二十三年貴族院議員ニ勅任セラル

子爵 大浦 兼武

嘉永三年五月生、鹿兒島縣華族、舊鹿兒島藩
農商務大臣、陸軍歩兵中尉、正三位、勳一等

明治五年權區長ニ任シ、爾後陸軍少尉、大阪府警部長、三等警視、富山縣書記官、内務省警保局長、内局主事、大阪府書記官、島根、山口、熊本、宮城等各縣知事、警視總監(前後二回)、遞信大臣、農商務大臣、内務大臣等ニ歷任シ、御用有之歐米各國へ差遣ハサル、又日英博覽會總裁、國勢調査準備委員會會長、條約改正準備委員會副委員長等仰付ラレタリ ○明治三十

三年貴族院議員ニ勅任セラル

子爵 實吉安純

嘉永元年三月生、東京府華族、舊鹿兒島藩
海軍軍醫總監、從三位、勳一等、功二級、醫學博士

英國留學生申付ラレ、學位ヲ受ク ○明治五年海軍省出仕ヨリ海軍軍醫副ニ任シ、爾後同中軍醫ヨリ現官ニ累進ス、其ノ間軍醫寮學舍長、征討軍本營附、海軍衛生會議議員(兼トモ三回)、同議長、海軍軍醫學會教官、同軍醫學校教授兼監事、同校長兼教官、兼警察醫長、東京府避病院長、醫學校教務主任、東京慈惠醫院次長、海軍省醫務局長、大本營海軍醫務部長等ニ歷任シ、明治十年、同二十七八年、同三十三年、同三十七八年ノ各戰役ニ從事シ、又醫務、衛生其ノ他ニ關スル諸種ノ委員、委員長タルコト少カラス、英、佛、獨、埃及露ノ諸國へ差遣ハサレ、巴里萬國醫事會議ニ參列セリ ○明治三十八年貴族院議員ニ勅任セラル

男爵 辻 新次

天保十三年正月生、東京府華族、舊松本藩
錦鷄間祇候、正三位、勳一等

慶應元年以降開成所教授方手傳役、同教授試補、大學少助教、同大助教、文部省出仕、南校校長、大學設立掛、開城學校長、外國語學校長事務取扱、文部權大丞、文部權大書記官、兼任太政官大書記官、文部大書記官、參事院員外議官補、文部次官等ニ歷任ス、又元老院ニ於ケル内閣委員タルコト三回、文部省所管事務政府委員タルコト四回、諸般ノ教員檢定試驗委員タルコト數回、博士會議、高等教育會議議員(二回)、臨時取調委員、第三回内閣勸業博覽會審査官、第五回内閣勸業博覽會、臨時博覽會、日英博覽會等評議員、博覽會開設臨時調査委員等ヲ仰付ラル、教科用圖書調査委員會委員、教育調査會會員タリ ○明治二十九年貴族院議員ニ勅任セラル

宮 本 小 一

天保七年二月生、東京府士族、舊靜岡藩
錦鷄間祇候、正三位、勳二等

第二編 現在議員略履歷(勅選)

第二編 現在議員略履歷(勅選)

明治元年鎮守府御雇、東京府開市調役外國官御用掛、各國條約書改革調掛等ニ任シ、爾後外國官判事試補、外務權少丞(大丞ニ進ム)、外務大書記官、朝鮮國通商章程取調係、參事院員外議官補、元老院議官等ニ歷任シ、黒田特命全權辦理大臣ニ隨ヒ朝鮮國へ赴キ、御用有之清國ニ差遣ハサル、又外賓接待掛ヲ命セラルルコト前後五回○明治二十四年貴族院議員ニ勅任セラル

男爵 小澤武雄

弘化元年十一月生、東京府華族、舊豐津藩
錦鷄間祇候、正三位、勳一等

明治二年兵部少録ヨリ同四年兵部權少丞、陸軍少佐トナリ、爾後累進シテ陸軍中將ニ至レリ、其ノ間一等法制官、軍律取調係、太政官大書記官、征討軍團參謀、同輜重部部長、將校以下勳功調査委員、陸軍省總務局長、陸軍士官學校長(二回)、陸軍少輔、陸軍參謀本部次長、同部長、臨時砲臺建築部長等ニ歷任シ、諸種ノ委員タルコト少カラス、又米國費府博覽會へ、及砲臺建築取調トシテ歐洲へ差遣ハサル、日本大博覽會評議員、日本赤十字社副社長タリ○明治二十三年貴族院議員ニ勅任セラル

淺田 德則

嘉永元年十月生、東京府平民
錦鷄間祇候、正三位、勳一等

明治元年久美濱縣書記ニ任シ、爾後同縣權大屬、生野縣准大屬、戶籍權中屬、同中屬、戶籍寮、國債寮等出仕ヨリ外務一等書記生(米國在勤)、同二等書記官、同權少書記官、同少書記官、外務省取調局長、外務權大書記官、公信局長、兼任參事院員外議官補、外務大書記官、兼任外務省會計局長、辦理公使、兼任外務省通商局長、神奈川(二回)、長野、新潟、廣島諸縣ノ知事、外務總務長官兼外務省官房長、特命全權公使、遞信總務長官等ニ歷任ス、又帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト三回、臨時假名遣調査委員會、衆議院議員選舉法改正調査會、生産調査會等委員ニ舉ケラレタリ○明治三十六年貴族院議員ニ勅任セラル

男爵 奈良原 繁

天保五年五月生、鹿兒島縣華族
錦鷄間祇候、正三位、勳一等

鐵道事業取調ノ爲歐米遊歴○明治十一年以降内務省御用掛(准奏任)、内務、農商務、工部等各
大書記官(權トモ)、靜岡縣令、工務省出仕、元老院議官、宮中顧問官、沖繩縣知事兼臨時沖繩
縣土地整理事務局局長、糖業改良事務局局長等ニ歷任シ、御用有之清國福州廈門地方へ差遣ハサル、維新史料編纂會委員タリ○明治四十年再ヒ貴族院議員ニ勅任セラル

男爵 牧野 伸顯

文久元年十月生、東京府華族、舊鹿兒島藩士
正三位、勳一等

外務省御用掛、英國公使館附書記生ヲ經テ、明治十六年太政官權少書記官ニ任シ、爾後制度取調局御用掛兼勳、兼參事院議官補、法制局參事官(兼トモ)、兵庫縣書記官、内閣總理大臣秘書官、内閣記録局長兼官報局長、兼文事秘書官、福井、茨城二縣ノ知事、文部次官、專門學務局長事務取扱、特命全權公使(伊國、埃國駐劄)、瑞西國駐劄公使兼勳、文部大臣(兼トモ)、樞密顧問官、農商務大臣、外務大臣等ニ歷任シ、其ノ間内閣勸業博覽會審査官其ノ他諸種ノ委員長、委員ニ舉ケラル、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト四回、又伊藤特派全權大使ニ隨行清國へ差遣ハサレタリ○大正三年貴族院議員ニ勅任セラル

大 森 鍾

安政三年五月生、靜岡縣士族
京都府知事(親任官待遇)正三位、勳一等

諸職ヲ經テ明治十三年太政官權少書記官ニ任シ、爾後參事院議官補(兼トモ)兼書記官、兼太政官少書記官(二回)、内務書記官(三回)、内務大臣秘書官、内務省縣治局長、兼警保局長、長崎、兵庫二縣ノ知事、内務總務長官、大禮使參與官等ニ歷任シ、元老院ニ於ケル内閣委員タルコト(七回)、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト三回、鐵道會議議員、港灣調查會會長其ノ他諸種ノ評議員、委員長、委員等ニ舉ケラル、又御用有之歐洲へ差遣ハサル、帝室博物館(勅選)

第二編 現在議員略履歷(勅選)

待遇)、臨時博覽會等評議員、大禮準備委員タリ○明治四十二年貴族院議員ニ勅任セラレ
服部 一 三 嘉永四年二月生、山口縣上族、舊長州藩
兵庫縣知事、(親任官待遇)正三位、勳一等

米國留學、學位ヲ受ク○明治九年以降東京英語學校長、東京大學豫備門主幹、東京大學法學部
理學部文學部綜理補、大阪專門學校綜理、文部少書記官、東京大學法學部長兼東京大學豫備長、
東京大學幹事、文部書記官、文部省參事官、文部省普通學務局長、巖手、廣島、長崎諸縣ノ知
事等ニ歷任ス、又博覽會評議員、其ノ他教育ニ關スル委員ニ舉ケラルルコト頗ル多シ、臨時博
覽會評議員タリ○明治三十六年貴族院議員ニ勅任セラレ

小野田 元 燾

嘉永元年二月生、東京府士族、舊館林藩士
錦鷄間祇候、陸軍歩兵中尉、正三位、勳一等

諸職ヲ經テ明治五年司法省少警部兼司法權中檢部ニ任シ、次テ再ヒ司法省少警部ヨリ警視廳少
警部トナリ大警部(兼トモ)ニ進ミ、爾後兼鹿兒島縣警部、兼征討總督本營大警部(本官陸軍中
尉)、同別働第三旅團第一大隊副官、兼警視補、警視(兼トモ)、兼內務少書記官、東京府島司、
長野、兵庫二縣ノ書記官、內務省警保局長、茨城、山梨、静岡、宮城、香川等各縣ノ知事等ニ
歷任シ、西南ノ役ニ從軍ス、又帝國議會ニ於ケル政府委員トナリ、其ノ他各種ノ委員長、委員
ニ舉ケラレ、曾テ川路大警視歐洲被差遣ニ付隨行仰付ラレタリ○明治四十三年貴族院議員ニ勅
任セラレ

男爵 松尾 臣 善

天保十四年二月生、東京府華族、舊宇和島藩
正三位、勳一等

明治二年大阪府權大屬外國局會計長ニ任シ、通商司權大佑、通商大佑、監督大佑、戶籍大屬、
國債大屬、大藏權少書記官、權大書記官、大藏省出納局長、日本銀行管理官、兼任大藏省主計
局長、兼任大藏省預金局長、兼任大藏省國債局長、大藏省理財局長、兼任秩祿處分調查局長等ニ

歷任シ、再ヒ日本銀行總裁仰付ラレ、日本大博覽會評議員及各種銀行會社ノ創立委員ニ舉ケラ
ル、帝國議會ノ政府委員タルコト前後九回○明治三十三年貴族院議員ニ勅任セラレ

平 山 成 信

安政元年十二月生、東京府士族、舊靜岡藩
宮中顧問官、宗秩寮審議官、正三位、勳二等

明治四年左院少掌記、五等書記生ニ任シ、爾後博覽會事務局出仕、正院出仕、外務屬、一等書
記生(佛國ノ勤)ヲテ、明治十四年以降大藏少書記官、元老院少書記官、同權大書記官、大藏
大臣兼內閣總理大臣秘書官、內閣書記官長(二回)、樞密院書記官長、大藏省參與官、大藏省官
房長、行政裁判所評定官、宮中顧問官、日本大博覽會會長、有栖川宮附別當等ニ歷任シ、埃國
ニ差遣ハサルコト一回、又帝國博物館、第五回內國勸業博覽會、臨時博覽會、日英博覽會(鑑
査官)等ノ評議員、博覽會開設臨時調查會及再ヒ美術審查會委員ニ舉ケラル、帝室博物館評議員
(勅任待遇)、臨時博覽會評議員、同鑑査官、美術審查委員會委員タリ○明治二十七年貴族院議
員ニ勅任セラレ

男爵 石 黒 忠 愼

弘化二年二月生、東京府華族
陸軍軍醫總監、正三位、勳一等、功三級

明治二年以降醫學校記開掛、大學少寮長心得、大學、文部省、軍醫寮等奏任出仕、陸軍一等軍
醫兼軍醫權助、陸軍軍醫正、兼任陸軍馬醫監、病馬廐長、大阪臨時病院長、內務省、文部省、
兼臨時陸軍檢疫本部等御用掛、陸軍軍醫監、軍醫本部、衛生局、醫務局等ノ次長、兼軍醫學校
長、陸軍衛生會議議長、陸軍軍醫總監(前後二回)、陸軍省醫務局長、野戰衛生長官、大本營附
等ニ歷任シ、佐賀、鹿兒島及日清等ノ各戰役ニ從事シ、又醫務衛生其ノ他ニ關スル諸種ノ委員、
委員長、會長等ニ舉ケラルルコト頗ル多シ、又歐米ニ派遣セララルルコト二回、中央衛生會會長
タリ○明治三十五年貴族院議員ニ勅任セラレ

小松原英太郎

嘉永五年二月生、岡山縣士族
正三位、勳二等

明治十四年外務權少書記官等ニ任シ、爾來外務少書記官、兼太政官少書記官、參事院議官補、兼太政官權大書記官、外務書記官(獨逸國在勤)、公使館書記官、內務省參事官、內務大臣秘書官、埼玉縣知事、內務省警保局長、靜岡縣知事、長崎縣知事、司法次官、內務次官、內務總務局長、官兼內務省官房長、錦鷄間祇候、文部大臣、臨時兼任農商務大臣、日英博覽會總裁等ニ歷任ス、教育調査會會員タリ○明治三十三年貴族院議員ニ勅任セラレ

男爵 後藤新平

安政四年六月生、巖手縣華族
正三位、勳一等

獨逸留學○明治十二年愛知縣醫學學校監事、同校一等教諭兼務ヲ申付ラレ、爾後愛知醫學校長、愛知病院長兼務、內務省御用掛、同省技師、同省衛生局長、兼任中央衛生會幹事、臨時陸軍檢疫事務官、臺灣總督府衛生顧問、兼任臨時檢疫局主事、臺灣總督府民政局長、同民政長官、南滿洲鐵道株式會社總裁、臺灣總督府顧問、關東都督府顧問、遞信大臣(二回)、兼鐵道院總裁(二回)、兼拓殖局總裁(副トモ)等ニ歷任シ、其ノ間臺灣總督府鐵道部長、臺灣樟腦局長等ニ補セラレ、各種ノ委員長、委員等ニ舉ケラル、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト數回、又萬國衛生及デモグラフキイ會議參列ノ爲英國倫敦へ及御用有之歐米各國へ孰モ差遣ハサレタリ○明治三十六年貴族院議員ニ勅任セラレ

男爵 高木兼寛

嘉永二年九月生、東京府華族、舊鹿兒島藩
海軍軍醫總監、正三位、勳二等、醫學博士

醫學修業ノ爲英國留學○明治五年海軍省出仕、同中軍醫ヨリ現官ニ累進ス、其ノ間東京海軍病院長、醫務局副長、中央衛生會委員(數回)、醫務局學舍長、內務省御用掛、軍醫本部長、軍醫學舍長、恩給局御用掛、衛生部長、海軍軍醫學校長、海軍中央衛生會議委員長、議院建築準備委

員會、生産調査會等委員ニ歷任ス、又中央衛生會委員、教育調査會會員タリ○明治二十五年貴族院議員ニ勅任セラレ

高崎親章

嘉永六年五月生、鹿兒島士族
錦鷄間祇候、正三位、勳一等

明治八年以降警部補、權少警部、五等警視兼二等警察使、宮城縣警部長、大阪府警部長、同書記官、內務省警保局主事、警保局長、茨城、長野、岡山、宮城、京都、大阪等諸府縣ノ知事等ニ歷任シ、又日英博覽會評議員仰付ラレタリ○明治三十六年貴族院議員ニ勅任セラレ

阿部浩

嘉永五年正月生、巖手縣士族
錦鷄間祇候、正三位、勳二等

明治七年以降地理寮、教部省、岡山縣等出仕、教部權少錄、岡山縣屬、同御用掛、工部權少書記官、長崎造船所事務取扱、品川硝子製造所長、同會計主務心得、同殘務取扱、釜石小坂兩鐵山殘務整理掛等兼務、鐵道事務官、內務社寺局長、群馬、千葉(二回)、富山、新潟諸縣、東京府等知事、錦鷄間祇候等ニ歷任シ、其ノ間日本大博覽會、日英博覽會等評議員、品川硝子製造所貨渡方法取調、神職試驗(二回)等委員ニ舉ケラレタリ○明治三十九年貴族院議員ニ勅任セラレ

深野一三

嘉永五年正月生、福岡縣士族
錦鷄間祇候、正三位、勳二等

明治八年熊本縣中學校教員ニ任シ、爾後熊本區書記、鳥取縣屬、同警部、同警部長(心得トモ)、同參事官、鳥取(二回)、福島等各縣書記官、香川、鳥取、福岡、愛知等各縣知事、北海道廳事務官、內務省地方局長等ニ歷任シ、其ノ間帝國議會ニ於ケル政府委員、日英博覽會評議員其ノ他各種ノ委員長、委員ニ舉ケラレタリ○明治四十四年貴族院議員ニ勅任セラレ

山縣伊三郎

安政四年十二月生、東京府華族、舊山口藩士
朝鮮總督府政務總監、正三位、勳一等

明治十一年翻譯見習、外國貴賓渡來ニ付接伴掛附屬トナリ、爾後外務書記生(獨逸在勤)、同御用係(准奏任)、兼制度取調局長御用掛、法制局參事官、太政官、愛知縣、內務、東京府等各書記官(兼トモ)、德島、三重等各縣知事、遞信省管船局長、兼高等海員審判所長、內務省地方局長、同總務長官、同次官、遞信大臣、副總監、朝鮮總督府臨時土地調查局長事務取扱等ニ歷任シ、其ノ間帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト九回、鐵道會議議員、第五回內國勸業博覽會評議員、其ノ他各種ノ委員長、委員ニ舉ケラレタルコト頗ル多ク、又御用有之韓國及露領西伯利亞東部沿岸各港ヘ差遣ハサレタリ○明治四十一年貴族院議員ニ勅任セララル

奧田義人

萬延元年六月生、鳥取縣平民、舊鳥取藩士
正三位、勳一等、法學博士

東京大學法學部卒業○明治十七年太政官兼制度調查局御用掛トナリ、爾後東京農林學校(山林學校トモ)幹事兼助教、農省務省參事官(兼トモ數回)、同專賣特許局次長代理、同大臣秘書官(二回)、兼特許局審判官、特許局長、東京電信學校囑託、兼行政裁判所評定官、內閣官報局長兼內閣書記官、衆議院書記官長、拓殖務次官(殘務取扱トモ)、農商務次官、兼山林局長、同工務局長心得、文部總務長官(次官トモ)、法制局長官兼恩給局長、帝室制度調查局御用掛(殘務取扱トモ)、宮内省御用掛(勅任待遇)、宮中顧問官、宗秩寮審議官、文部大臣、司法大臣(兼トモ)等ニ歷任シ、其ノ間教育調查會副總裁、法律取調委員會會長、臨時博覽會事務局評議員、事務官、第二回水産博覽會事務官長、鐵道會議議員(二回)、其ノ他各種ノ委員長、委員タルコト少カラス、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト四回、又東京市名譽職參事會員(二回)及衆議院議員(三回)ニ當選セリ○明治四十五年貴族院議員ニ勅任セララル

倉富勇三郎

嘉永六年七月生、福岡縣平民
正三位、勳二等、法學博士

諸職ヲ經テ明治十四年判事ニ任シ、爾後東京始審裁判所判事、司法省參事官(二回)、判事(函館控訴院部長)、司法省民刑局長(兼トモ)、同參事官、檢事(大審院檢事、大阪、東京等各控訴院檢事長)、統監府參事官(兼トモ)、同司法廳長官、朝鮮總督府司法部長官、法制局長官(親任待遇)、大禮使參事官、大喪使事務官等ニ、又韓國法部次官ニ歷任シ、其ノ間監獄官練習所講義囑託、鐵道院職員救濟組合審查會議長、其ノ他諸種ノ委員長(韓國トモ)、委員ニ舉ケラレ、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト十三回、法律取調委員タリ○大正三年貴族院議員ニ勅任セララル

田中芳男

天保九年八月生、東京府士族、舊笠松藩
錦鷄問祇候、正三位、勳一等

明治元年開成所御用掛トナリ、爾後大學、文部省等ノ出仕、文部省教授、編輯權助、內務省出仕、同權大丞、同大書記官、農商務大書記官、元老院議官等ニ歷任シ、其ノ間外國又ハ內國ノ諸博覽會事務官、評議員、審査官及各種ノ取調委員、會議員タルコト甚多ク、埃國、米國ニ差遣ハサルルコト各一回、會テ東京學士會院會員ニ舉ケラル、又帝國學士院會員タリ○明治二十三年貴族院議員ニ勅任セララル

男爵 村田經芳

天保九年六月生、鹿兒島縣華族、舊鹿兒島藩
陸軍少將、正三位、勳一等

明治四年以降陸軍大尉、近衛三番大隊射的係、兵學寮附、東京鎮臺出仕、歩兵第十三隊長、戶山學校教官、砲兵會議議員、砲兵工廠御用掛銃工所專務等ニ歷任セリ、射的學研究ノ爲普佛兩國ヘ、後更ニ歐米各國ヘ差遣ハサル、又銃砲ニ關スル委員タルコト數回○明治廿三年貴族院議員ニ勅任セララル

男爵 中村雄次郎

嘉永五年二月生、三重縣華族
南滿洲鐵道株式會社總裁、陸軍中將、正三位、勳一等、功四級

明治七年陸軍中尉ニ任シ、現官ニ果進ス、其ノ間大阪鎮臺砲兵第七大隊、同砲兵第四大隊第二

第二編 現在議員略履歷(勅選)

第二編 現在議員略履歷(勅選)

小隊、同豫備砲兵第二大隊等隊附、同豫備砲兵第二大隊第一、第二小隊等豫備隊長心得、第四軍管徵兵副使(二回)、砲兵支廠附、同廠火工、鑄工二所及大阪砲兵工廠製砲、製彈二所等監勤、士官學校教官(兼トモ)、同砲兵學教官(兼トモ)、同校長、東部、中部檢閱監軍部長及西部、東部檢閱使等屬員、陸軍大學校教授(兼、心得トモ數回)、海防局、士官學校、陸軍大學校、參謀本部、砲兵會議、東京砲兵工廠等御用掛兼勤、兼砲兵會議議案掛(二回)、同議員(兼トモ數回)、兼同議長(二回)、同事務官、參謀本部陸軍部第二局課員、第一局課長、砲兵第一方面提理、軍務局課長(二回)、軍務局長(二回)、法官部長、法務局長、陸軍次官、同總務長官、兼臨時廣島軍用水道布設部長、鐵道會議議員、兼理事(二回)、製鐵所長官(親任官待遇)等ニ歷任シ、製鐵事業取調、其ノ他各種ノ委員長、委員ニ擧ケラレタルコト少カラス、帝國議會ノ政府委員タルコト十五回、曾テ山縣陸軍中將歐洲各國巡回ニ付隨行、又御用有之清國へ差遣執モ御付ラレタリ○明治三十七年貴族院議員ニ勅任セラレ

前田 正名

嘉永三年三月生、鹿兒島縣士族、舊鹿兒島藩從三位、勳四等

佛國留學○明治八年以降佛國公使館附二等書記生、勸業寮御用掛、內務省御用掛、大藏省御用掛(前後二回)、總領事、大藏大書記官(兼トモ)、農商務省大書記官、文部省御用掛兼勤、山梨縣知事、農商務省工務局長、同省農務局長(兼任トモ三回)、兼東京農林學校校長(心得トモ)、農商務次官、元老院議員等ニ歷任シ、其ノ間外國又ハ内國ノ諸博覽會事務官、審査官、評議員及各種ノ委員タルコト少カラス、又理事官トシテ歐米兩洲へ差遣ハサルコト二回、曾テ佛國博覽會御用ニ付御雇佛人我領事官コントドモンプランニ隨行佛國へ派出セラレタリ○明治三十七年再ヒ貴族院議員ニ勅任セラレ

小牧 昌業

天保十四年九月生、鹿兒島縣士族、舊鹿兒島藩錦鷄間祇候、從三位、勳二等

明治二年行政官吏官試補、小史、權大史トナリ、爾後開拓使八等出仕、同權大書記官、太政官大書記官、文部省大書記官、文部大臣、農商務大臣、內閣總理大臣等ノ秘書官、內閣書記官長、奈良、愛媛二縣ノ知事、兼帝室奈良博物館長、樞密院書記官長等ニ歷任シ、再ヒ錦鷄間祇候御付ラレ、清國、朝鮮國、西比利亞、歐米兩洲等へ差遣ハサレタルコト前後四回、又臨時假名遣調查委員會委員ニ擧ケラル、教科用圖書調查委員會、維新史料編纂會等委員タリ○明治三十年貴族院議員ニ勅任セラレ

田邊 輝實

天保十二年十一月生、兵庫縣士族、舊柏原藩錦鷄間祇候、從三位、勳一等

明治二年彈正少忠、大監察トナリ、同六年大屬ニ任シ、爾後入間、群馬、熊谷、愛知諸縣、勸業寮等出仕、熊谷、鹿兒島各縣、內務省等屬、兼任七等判事、內務省御用掛、高知縣少書記官、同大書記官、內務權大書記官、山林局長、土木局長、高知、宮崎、佐賀、三重、宮城等諸縣ノ知事(令トモ)等ニ歷任シ、其ノ間帝國議會ノ政府委員タルコト五回、其ノ他臨時博覽會評議員及各種ノ委員御付ラレタリ○明治三十八年貴族院議員ニ勅任セラレ

黒岡 帶刀

嘉永四年八月生、鹿兒島士族、舊鹿兒島藩士海軍中將、從三位、勳二等

東京海軍操練所ニテ修學、英國勤學申付ラル、佛國留學○明治六年甫テ海軍少尉補ニ任シ、現官ニ累進ス、其ノ間東、清輝、龍驤、比叡等諸艦乘組、海軍省軍務局、海軍兵學校等勤務、兼太政官權少書記官、英國公使館附兼務、特別御用取調掛、軍事部第五課長、同第四課長兼第三課長、兼造船會議議員、參謀本部海軍部第三局長、橫須賀鎮守府參謀長、筑波、浪速等各艦長、臺灣總督府海軍參謀長等ニ歷任シ、西南、日清ノ各戰役ニ從軍シ、曾テ威仁親王隨從トシテ英國へ又伊藤特派全權大使ニ隨行シテ清國へ差遣ハサレタリ○明治三十六年貴族院議員ニ勅任セラレ

第三編 現在議員略履歷(勅選)

男爵 關 義 臣

天保十年十一月生、東京府華族、舊福井藩、錦鷄間祇候、從三位、勳三等

明治元年以降大阪府權判事、鳥取、置賜等各縣參事、贈賜縣權令、大藏省出仕、同權大丞、判事、宮城控訴院檢事長、大審院評定官(勅任)、同檢事、德島、山形等各縣知事、高等法院陪席裁判官等ニ歷任セリ○明治三十年貴族院議員ニ勅任セラル

男爵 久保田 讓

弘化四年五月生、兵庫縣華族、舊豐岡藩、從三位、勳一等

明治二年日光縣權大屬ニ任シ、爾後文部省出仕、文部權中録ヨリ同大書記官ニ累進シテ文部次官ニ至リ、其ノ間廣島師範學校長、地方學務局副長、會計局長、普通學務局長等ヲ勤務シ、更ニ文部大臣ニ任セラル、又各種ノ教育ニ關スル委員長タルコト少カラス、御用有之歐米諸國ニ差遣ハサル○明治廿七年貴族院議員ニ勅任セラル

山川 健次郎

安政元年七月生、東京府平民、東京帝國大學總長兼京都帝國大學總長(親任官待遇)從三位、勳二等、東京帝國大學名譽教授、九州帝國大學名譽教授、理學博士

魯、米二國へ留學申付ラレ、米國エール大學ヨリバチエロル、チア、フヒロソフヒトノ學位ヲ受ク○明治九年以降東京開成學校教授補、東京大學理學部教授補、同助教ヲ囑託セラレ、更ニ東京大學教授ニ任シ、理科大學教授トナリ、帝國大學評議員、理科大學長、高等教育會議議員(三回)、副議長(二回)、東京帝國大學總長(心得トモ)、九州帝國大學總長等ニ歷任シ、其ノ間帝國學士院會員、教員檢定委員會會長又ハ、學術ニ關スル各種ノ委員ニ舉ケラレタルコト頗ル多シ、東京御學問所、臨時博覽會等評議員、教科用圖書調查委員會、神社奉祀調查會等委員、教育調查會會員タリ○明治三十七年貴族院議員ニ勅任セラル

江 木 千 之

嘉永六年四月生、山口縣士族、舊岩國藩、錦鷄間祇候、從三位、勳一等

明治七年文部省十三等出仕ニ任シ、爾後長崎師範學校四等教諭、文部省大書記、少視學ヲ經テ、文部省三等屬ヨリ一等屬ニ進ミ、文部權少書記官、同少書記官、同視學官、同參事官(兼任トモ前後三回)、同普通學務局長、內務大臣秘書官兼內務書記官、內務省縣治局長、鐵道會議議員、茨城、栃木、愛知、廣島、熊本諸縣ノ知事等ニ歷任シ、又帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト三回、其ノ間諸種ノ委員長、委員等ニ舉ケラレタルコト頗ル多シ、教科用圖書審查委員會委員、教育調查會會員タリ○明治三十七年貴族院議員ニ勅任セラル

大 澤 謙 二

嘉永五年七月生、東京府士族、舊豐橋藩、東京帝國大學醫科大學教授、從三位、勳二等、醫學博士

獨逸國留學前後二回(一回ハ官命)、大學ノ學位ヲ受ク○明治四年大學中得業生トナリ、同七年以降東京醫學校二等教諭、東京大學教授、醫科大學教授兼醫科大學頭(長)等ニ歷任ス、學術及學務ニ關スル各種ノ委員タルコト少カラス、學士會院會員ニ舉ケラレ、御用有之歐米各國へ差遣ハサルコト二回、又伊國「チェリン」府第五回萬國生理學會ニ委員トシテ參列仰付ラル、帝國學士院會員タリ○明治廿四年貴族院議員ニ勅任セラル

男爵 村上 敬次郎

嘉永六年九月生、東京府華族、海軍主計總監、從三位、勳一等、功二級

歐洲留學命セララル○明治七年廣島英語學校教員トナリ、爾後同二等教諭兼監事寄宿舎長、海軍省出仕、同少書記官、兼太政官御用掛ヲ經テ、海軍主計少監ニ任シ、現官ニ累進ス、其ノ間海軍大臣秘書官(兼トモ四回)、同官房副主事、兼海軍省第三局第一課長、同省經理局第一課長、經理局長、吳鎮守府監督部長(二回)、旅順口海軍根據地主計部長、同殘務取扱、大本營海軍經理部長等ニ歷任シ、明治二十七八年、同三十三年及同三十七八年ノ事件ニ從事シ、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト十四回、政務調查委員、其ノ他海軍ニ關スル委員タルコト數回、又樺山海軍軍次官歐米各國被差遣ニ付隨行仰付ラレタリ○明治四十二年貴族院議員ニ勅任セラル

男爵 山内萬壽治

萬延元年三月生、廣島縣華族
海軍中將、從三位、勳一等、功二級

兵學校卒業○明治十二年海軍少尉補ニ、爾後海軍少尉、同中尉、同少技監、同造兵少監、同造兵中監ヲ經テ同大佐ニ任シ、現官ニ進ム、其ノ間乾行、攝津等各艦乗組、兵學校教授(兼勤トモ)、軍事部兵器局、兵器製造所等勤務(兼トモ)、參謀本部海軍部、海軍參謀本部等出仕、兼造兵監督官(五回)、歐洲出張中ノ殘務取扱、海軍造兵廠検査科長(心得トモ)、兼同技術會議議員(三回)、假設吳兵器製造所長(二回)、吳海軍造兵廠長(心得トモ)、兼吳鎮守府艦政部長、吳海軍工廠長、兼同廠造兵部長製鋼部長、吳鎮守府司令官等ニ任補セラレ、北清事件及明治三十七八年戰役ニ從事シ、帝國議會ノ政府委員タルコト二回、製鐵所設立案、兵器廠設立、造兵廠設立、士官及生徒下士卒教育法等取調委員、佛國製造松島艦回航事務取扱、下瀬技手發明爆裂藥試驗、海軍懸賞射擊(二回)、新造艦型審査等委員、日本製網所創立顧問等ニ舉ケラル、又屢々歐米へ又香港へ出張仰付ラレ、造兵及製鋼ニ關スル研究ヲ囑託セララル○明治四十三年貴族院議員ニ勅任セララル

荒川 義太郎

文久二年九月生、東京府平民
錦鷄間祇候、從三位、勳二等

東京大學法科卒業○明治十七年内務省御用掛トナリ、爾後内務屬、同參事官、岡山、富山、群馬、神奈川等諸縣書記官、兼臨時橫濱築港局長、同殘務調理、鳥取、三重、香川、長崎諸各縣知事等ニ歷任シ、其ノ間富山縣會計、遞信費會計等主務官、遞信省鐵道用地買收事務囑託等ニ、又橫濱市長、日本大博覽會評議員、神奈川縣防疫顧問、臨時橫濱港設備委員會委員等ニ舉ケラレタリ○明治四十三年貴族院議員ニ勅任セララル

折田 彦市

嘉永三年七月生、京都府士族、舊鹿兒島藩士
錦鷄間祇候、從三位、勳二等

米國留學、マストル、オブ、アーツノ學位ヲ受ク○明治九年米國費府博覽會御用掛、文部省督學局雇等トナリ、爾後文部省學監事務所(二回)、同内記所等雇、同御用掛兼勤、同權大書記官、同學務局長(代理トモ)、同參事官(兼トモ)、外務二等書記生、伊國在勤)、體操傳習所主幹、大阪專門學校、大阪中學校(囑託トモ)、大學分校、第三高等中學校(兼トモ)等ノ校長等ニ歷任シ、其ノ間第四回内國勸業博覽會審査官、高等教育會議議員、小學校條例取調、尋常師範學校尋常中學校高等女學校教員檢定試驗等委員ヲ命セラレタリ○明治四十三年貴族院議員ニ勅任セララル

和田 彦次郎

安政六年六月生、廣島縣平民
從三位、勳一等

明治三十一年農商務省農務局長ニ任シ、爾後同商工局長(代理トモ)、同總務長官、同次官、日本大博覽會事務總長、日英博覽會事務官長、同殘務取扱等ニ歷任シ、其ノ間帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト十二回、鐵道會議議員、第五回内國勸業博覽會、臨時博覽會等評議員、製鐵所、東京高等工業學校等評議員、其ノ他諸種ノ委員長、委員タルコト少カラス、又御用有之數回歐米各國へ及清韓兩國へ執モ差遣ハサレ、七タヒ衆議院議員ニ當選セリ○明治四十四年貴族院議員ニ勅任セララル

柴田 家門

文久二年十二月生、山口縣士族
從三位、勳二等

帝國大學法科大學卒業○明治二十三年以降内閣試補、内閣書記官(兼トモ)、大本營附、法制局參事官、内務省地方局長、兼任行政裁判所評定官、内閣書記官長(兼トモ三回)、拓殖局總裁、文部大臣等ニ歷任シ、其ノ間諸種ノ委員ニ舉ケラレタルコト少カラス、又帝國議會ニ於ケル政府委員仰付ラレタリ○明治三十六年貴族院議員ニ勅任セララル

河村 讓三郎

安政六年二月生、滋賀縣士族、舊宮家家臣
錦鷄間祇候、從三位、勳二等、法學博士

司法省法學校卒業、歐洲留學○司法省兼文部省御用掛ヲ經テ明治二十三年以降判事試補、判事、
檢事(兼トモ)等ニ任シ、東京始審裁判所詰、東京控訴院判事、前橋地方裁判所長、大審院檢事
ニ補シ、又司法省參事官試補、參事官(兼トモ四回)、法科大學講師、兼法制局參事官、民刑局長、
司法次官、兼監獄局長等ニ歷任シ、其ノ間日本大博覽會、日英博覽會等評議員其ノ他諸種ノ委
員長、委員ニ舉ケラレ、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト十五回、又國際私法上ノ事項ニ關
スル萬國會議開設ニ付委員トシテ和蘭へ差遣ハサレタリ○大正元年貴族院議員ニ勅任セララル

平井晴二郎

安政三年十月生、東京府平民
鐵道院副總裁、從三位、勳二等、工學博士

米國留學、學位ヲ受ク○明治十四年開拓使御用係トナリ、爾後工部省御用掛、煤田並鐵道管理
局鐵道科長、同引繼事務取扱、工部、農商務、北海道廳等少技長(權トモ)、北海道事業管理局事
務取扱、北海道廳遞信省技師、兼北海道鐵道事務所長、炭礦鐵道會社理事、鐵道技師(二回)、
同技監(兼トモ三回)、遞信技監、兼鐵道作業局長(二回)、兼同長官(代理、心得トモ)、兼陸軍省
御用掛、帝國鐵道廳總裁等ニ歷任シ、其ノ間帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト八回、又日本
大博覽會理事官(評議員トモ)、大喪使事務官、明治天皇靈柩供奉、鐵道會議議員(數回)、日英
博覽會評議員、製鐵所商議委員其ノ他各種ノ委員ニ舉ケラレ、御用有之歐米各國へ差遣ハサレ、
瑞西開催萬國鐵道會議へ委員トシテ參列セリ、鐵道會議議員、大禮準備委員タリ、又在官ノ儘
支那政府應聘ヲ許可セララル○明治四十一年貴族院議員ニ勅任セララル

男爵 村木雅美

安政三年十月生、高知縣華族、舊高知藩士
陸軍中將、從三位、勳一等、功四級

陸軍士官學校卒業、佛國留學○明治十二年陸軍少尉ニ任シ、現官ニ累進ス、其ノ間東京鎮臺野
砲兵第一大隊第二中隊見習、陸軍士官學校教官(兼トモ)、大阪砲兵工廠御用掛(兼トモ)、同廠副
提理、同廠附、陸軍大臣秘書官心得(兼トモ)、陸軍省副官心得、軍事參議官附屬事務取扱兼勸、

兼砲兵會議議員(二回)、同御用掛兼勸、日清戰役大本營御用掛兼勸、砲兵第一方面本署長、軍務
局砲兵課長、東宮武官、武官長、日露戰役大本營附、兼東宮大夫、兼侍從武官等ニ歷任シ、臨
時博覽會評議員、陸軍省乘馬委員長、二十七八年戰役統計編纂委員長等ニ舉ケラレ、外國貴賓ノ
接伴員タルコト數回、日清戰役ニ從軍ス、又貞愛親王殿下ニ隨行歐洲へ、皇太子殿下ニ供奉韓
國へ執モ差遣ハサレタリ○大正元年貴族院議員ニ勅任セララル

一木喜徳郎

慶應三年四月生、靜岡縣平民
文部大臣、從三位、勳二等、法學博士

東京大學文學部卒業、獨逸留學○明治二十一年以降內務省試補、同書記官、兼同參事官、兼同參與
官(勅任)、同次官、同地方局長心得、兼農商務省參事官、法制局長官兼內閣恩給局長(親任禮遇ト
モ二回)、東京帝國大學法科大學教授、高等捕獲審檢所評定官、帝室制度調查局殘務取扱等ニ歷任
シ、御用有之韓國へ差遣ハサレ、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト數回、日本大博覽會、日英博
覽會等評議員、其ノ他各種ノ委員ニ舉ケラレタルコト頗ル多シ、又帝國學士院會員、教育調査會
副總裁タリ○明治三十三年貴族院議員ニ勅任セララル

仲小路 廉

慶應三年七月生、山口縣士族
從三位、勳二等

大阪府立中學校、開城學校英學部等卒業○明治二十年判事試補トナリ、爾後檢事試補、檢事(兼ト
モ三回)、司法省參事官(兼トモ)、兼行政裁判所評定官、遞信省官房長、同次官、內務省土木局長、
同警保局長、兼臨時鐵道國有準備局長官、兼臨時發電水力調査局長官、農商務大臣等ニ歷任シ、其
ノ間洲本治安裁判所、神戸始審裁判所洲本支廳、村岡區裁判所、橫濱地方裁判所、東京地方裁判
所、同控訴院等在勤、鐵道會議議員、鐵道廳、郵便貯金局及通信官署等各職員救濟組合審查會議
長、日本大博覽會、日英博覽會等評議員其ノ他各種ノ委員長、委員等ニ舉ケラル又帝國議會ニ於
ケル政府委員タルコト十二回、御用有之歐米へ差遣ハサレタルコト二回○明治四十四年貴族院

第二編 現在議員略履歷(勅選)

第二編 現在議員略履歴(勅選)

議員ニ勅任セラル

押川 則吉

文久二年十二月生、鹿兒島縣士族
製鐵所長官(親任官待遇)從三位、勳二等

駒場農學校卒業○明治十六年農商務省御用掛トナリ、爾後新潟縣御用掛、同屬、農商務屬、同技師、臺灣總督府雇員、同民政局事務官、同府事務官、山形、大分、長野、巖手、熊本等諸縣知事、農商務、内務等次官ニ歴任シ、其ノ間日本大博覽會評議員、鐵道會議議員、林野整理審查會長、帝國議會ニ於ケル政府委員、其ノ他諸種ノ委員長、委員ニ舉ケラル、又曾テ萬國大博覽會事務官補トシテ佛國へ、次テ農業經濟取調ノ爲ニ二年間歐洲ニ派遣セラレタリ○明治四十四年貴族院議員ニ任セラル

小松 謙次郎

元治元年十一月生、長野縣士族
錦鷄問祇候、從三位、勳二等

帝國大學法科大學卒業○司法省試補、檢事試補等ヲ經テ明治二十四年遞信省參事官兼遞信書記官ニ任シ、爾後郵便爲替貯金管理所長兼高等海員審判所審判官、通信局長、日本大博覽會理事官、遞信次官、臨時發電水力調査局長官等ニ歴任シ、其ノ間鐵道會議議員、日本大博覽會評議員、其ノ他諸種ノ委員長、委員ニ舉ケラル、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト十三回、又御用有之歐洲へ、萬事郵便會議開設ニ付委員トシテ米國へ執モ差遣ハサレタリ○大正元年貴族院議員ニ勅任セラル

山本 達雄

安政三年三月生、大分縣士族
從三位、勳二等

明治三十年日本銀行理事トナリ、爾後日本銀行、日本勸業銀行等ノ總裁、大藏大臣、農商務大臣等ニ歴任シ、又鐵道國有調査會、生産調査會等ノ委員ニ舉ケラレタリ○明治三十六年貴族院議員ニ勅任セラル

岡野 敬次郎

慶應元年九月生、東京府士族
行政裁判所長官兼東京帝國大學法科大學教授、從三位、勳二等
法學博士

帝國大學法科大學卒業、大學院ニテ修學、獨國留學○明治二十一年法科大學助教授ニ任シ、爾後法科大學教授(兼トモ二回)、兼任農商務省參事官(二回)、同參與官、同官房長、兼任法制局參事官、帝室制度調査局御用掛、同殘務取扱、法制局長官兼内閣恩給局長(親任禮遇トモ三回)、高等捕獲審檢所評定官、兼宮中顧問官、大喪使事務官、大禮使參與官等ニ歴任シ、其ノ間帝國議會ノ政府委員タルコト十九回、帝國大學評議員、鐵道院職員救濟組合審查會議長、其ノ他各種ノ委員長、委員ニ舉ケラル、帝國學士院會員、法律取調委員、文官高等懲戒委員タリ○明治四十一年貴族院議員ニ勅任セラル

岡喜 七郎

明治元年四月生、東京府士族
從三位、勳二等

帝國大學法科大學卒業○内務省試補ヲ經テ、明治二十六年鳥取縣參事官ニ任シ、爾後臨時廣島軍用水道布設部事務官、青森縣、内務省、大阪府等各書記官、秋田、鳥取兩縣ノ知事、統監府警務總長、同參與官、内務省警保局長、大禮使、大喪使各事務官等ニ、又韓國農商工部、内部各次官ニ歴任シ、其ノ間青森、大阪等府縣參事會會員、同農工銀行監理官、大阪地方森林會議員、同高等工業學校商議委員、内務省事務整理委員等ニ、又韓國ノ城壁處理委員長ニ舉ケラル、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト二回○大正三年貴族院議員ニ勅任セラル

渡正 元

天保十年正月生、東京府平民、舊廣島藩
錦鷄問祇候、從三位、勳二等

佛國留學○明治元年外國官事務所、鑛山司等出仕ヲ仰付ラレ、爾後陸軍省出仕、陸軍少佐、兵學寮幼年學校次長、參謀局課報提理、三等法制官、太政官少書記官、征討別働隊第三旅團會計部長、

第二編 現在議員略履歴(勅選)

太政官大書記官、參事院議官補、同議官、恩給局主事、元老院議官等ニ歷任シ、又元老院ニ於ケル内閣委員タルコト七回、佛國留學中山田理事官ニ隨行兵制取調仰付ラレタリ○明治廿三年貴族院議員ニ勅任セラシ

富田 鐵之助

天保六年十月生、宮城縣平民、舊仙臺藩
從三位、勳四等

米國留學○明治六年以降副領事(紐育在勤)、總領事(上海在勤)、外務少書記官、同一等書記官(倫敦在勤)、大藏大書記官、日本銀行副總裁、同總裁、東京府知事等ニ歷任シ、又東京商業學校校務商議員、東京市會議員、同名譽職參事會員、同市區改正委員長、鐵道會議議員、日本勸業銀行設立委員、農商工高等會議臨時議員等ニ舉ケラレタリ○明治廿三年貴族院議員ニ勅任セラシ

古市 公威

安政元年閏七月生、東京府士族、舊姫路藩
從三位、勳一等、東京帝國大學名譽教授、工學博士

開成所、大南校等ニテ修學、佛國ニ留學シ學位ヲ受ク○明治十四年以降土木局雇、内務、文部兩省ノ御用掛、内務技師、工科大學教授兼工科大學長、内務省土木技監、同土木局長(前後三回)、遞信次官、遞信總務長官、兼遞信省官房長、鐵道作業局長官、京釜鐵道株式會社總裁、統監府鐵道管理局長官等ニ歷任ス、山縣内務大臣ニ隨ヒ、日本大博覽會事務ニ關シ執モ歐洲諸國巡回ヲ命セラシ、又日英博覽會、日本大博覽會等評議員、土木其ノ他ニ關スル各種ノ委員タルコト頗ル多ク、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト十二回、帝國學士院會員、臨時博覽會評議員、震災豫防調查會、港灣調查會等委員タリ○明治廿三年貴族院議員ニ勅任セラシ

男爵 田 健治郎

安政二年二月生、兵庫縣華族、舊柏原藩
正四位、勳二等

諸職ヲ經テ明治十年判事補ニ任シ、爾後高知縣警部、兼屬、兼副典獄、四等警視、兼一等警察使(品川警察署詰)、高知、神奈川、埼玉各縣警部長、遞信書記官、兼遞信大臣秘書官、遞信監察官心得、郵務局長、電務局長(心得トモ)、通信局長、東京郵便電信學校長心得、遞信次官(總務長官トモ四回)、兼鐵道局長等ニ歷任シ、其ノ間第五回内國勸業博覽會評議員、鐵道會議幹事、議員、其ノ他各種ノ委員長、委員ニ舉ケラレタリ、帝國議會ノ政府委員タルコト十回、又御用有之歐米、清韓各國(差遣ハサレ、匈牙利國「ブタベスト」萬國電信會議ニ參列セリ○明治三十九年貴族院議員ニ勅任セラシ

男爵 武井 守正

天保十三年三月生、兵庫縣華族、舊姫路藩
錦鷄間祇候、正四位、勳三等

明治二年庶務局判事トナリ、爾後民部大錄、白石縣(角田縣)權知事、平縣(磐前縣)權令、少外史、權大外史、内務少丞、同大書記官及農商務大書記官、兼參事院員外議官補、農商務省會計局長、同山林局長、鳥取、石川二縣ノ知事等ニ歷任シ、臨時博覽會、日英博覽會、日本大博覽會等評議員、其ノ他諸種ノ委員仰付ラレ、英國ノ萬國森林博覽會(差遣ハサル)、又美術審查委員會委員、臨時博覽會評議員、鑑査官タリ○明治廿四年貴族院議員ニ勅任セラシ

男爵 目賀田 種太郎

嘉永六年七月生、靜岡縣華族、舊靜岡藩
正四位、勳二等

米國留學申付ケラル○明治七年文部省八等出仕トナリ、爾後判事、大藏少書記官(兼トモ)、兼參事院員外議官補、三等主稅官、主稅官、大藏省參事官、橫濱稅關長(兼トモ)、主稅局長、兼臨時稅關工事部長、釀造試驗所長、統監府財政監査長官等ニ歷任シ、各種ノ委員長、委員ニ舉ケラレタルコト甚多ク、帝國議會ノ政府委員タルコト十三回、會テ留學生監督トシテ米國へ、御用有之歐米各國へ、又韓國(財政顧問トシテ)差遣ハサレタリ○明治三十七年貴族院議員ニ勅任セラシ

男爵 伊瀨 知好成

嘉永元年十月生、鹿兒島縣華族、鹿兒島藩士
陸軍中將、正四位、勳一等、功四級

明治四年陸軍少尉ヨリ陸軍大尉ニ、爾後開拓使十四等出仕、同九等屬ヲ經テ更ニ陸軍大尉ニ任

シ、現官ニ累進ス、其ノ間御親兵二番大隊八番小隊、同一番大隊四番小隊、近衛第二大隊五番小隊、別働第一旅團、東京鎮臺、同歩兵第一聯隊等隊附、別働第一旅團歩兵第一聯隊第二大隊長心得、東京鎮臺歩兵第一聯隊副官、廣島鎮臺歩兵第一聯隊第三、近衛歩兵第二聯隊第二等大隊長、歩兵第二、同第八、近衛歩兵第三等聯隊長、第一師團參謀長(臨時トモ)、混成第十一、近衛歩兵第二等旅團長、威海衛占領軍司令官、第六、留守近衛等師團長等ニ任補セラル、又西南、日清等ノ戰役ニ從軍セリ○明治四十三年貴族院議員ニ勅任セラル

男爵 外松 孫太郎

弘化四年八月生、和歌山縣華族
陸軍主計總監、正四位、勳二等、功二級

和歌山縣十一等出仕、同六等屬、陸軍省十等出仕ヲ經テ明治十二年陸軍會計軍吏副ニ任シ、現官ニ累進ス、明治二十七年、同三十三年、同三十七八年ノ事件ニ從事シ、其ノ間陸軍省第五局出仕、同會計局庶務課長、同經理局課員、同主計課長、同經理局長等ニ歷任セリ○明治四十二年貴族院議員ニ勅任セラル

男爵 高橋 是清

安政元年七月生、東京府華族
正四位、勳一等

北米合衆國留學命セラル、開城學校ニテ修學○諸職ヲ經テ明治六年文部十等出仕トナリ、爾後督學局十等出仕、同九等仕任、學監事務掛、大阪英語學校長、東京英語學校、東京大學豫備門等教員、文部省、農商務省等御用掛、同調査課長兼商標登錄所長(前後二回)、同權少書記官、同少書記官、兼參事院員外議官補、書記局事務取扱兼務、兼專賣特許所長(局長、次長トモ四回)、兼東京農林學校長、日本銀行副總裁(重任)、總裁、兼橫濱正金銀行頭取(重任)、大藏大臣等ニ歷任シ、其ノ間第三次勸業主務員、日本大博覽會評議員、其ノ他各種ノ委員ニ舉ケラル、又帝國日本政府特派財政委員ヲ命セラレ、元老院ニ於ケル内閣委員タルコト一回、御用其ノ他ニテ海外諸國へ四回渡航セリ○明治三十八年貴族院議員ニ勅任セラル

石井 省一郎

天保十二年十二月生、巖手縣士族、舊小倉藩
錦鷄間祇候、正四位、勳二等

明治二年民政部兼大藏大録ニ任シ、爾後監督大佑、庶務大佑、土木權正ヨリ土木權頭、内務大書記官ニ累進シ、熊本縣權令心得、土木局長ヲ勤務シ、農商工上等會員、巖手縣令(知事トモ)、茨城縣知事等ニ歷任セリ○明治三十年貴族院議員ニ勅任セラル

西村 亮吉

天保十年十二月生、東京府士族、舊高知藩
錦鷄間祇候、正四位、勳三等

明治元年徵士軍務官權判事トナリ、更ニ高知藩ノ軍務民政ニ從事シ、明治五年以降大阪府出仕、同府及山梨縣典事、内務省出仕、警保權助、山梨縣參事、同縣大書記官、大分縣(令トモ)、鳥取縣等ノ知事ニ歷任シ、又鐵道國有調査會委員ニ舉ケラレタリ○明治廿五年貴族院議員ニ勅任セラル

谷 森 眞 男

弘化四年五月生、東京府士族
錦鷄間祇候、正四位、勳三等

明治二年小史トナリ、爾後太政官權大書記官、内閣大書記官(權トモ)、内閣書記官、元老院議員、香川縣知事等ニ歷任シ、臨時治水調査會、美術審査委員會等ノ委員ニ舉ケラル、又教科用圖書調査委員會委員タリ○明治三十一年貴族院議員ニ勅任セラル

三宅 秀

嘉永元年十一月生、東京府士族、舊金澤藩
錦鷄間祇候、正四位、勳三等、東京帝國大學名譽教授、醫學博士

高島秋帆、手塚律藏等ノ家塾ニ學ヒ、更ニ佛國ニ渡航シ、歸朝後橫濱ニ修學ス○明治三年大學出仕、同中助教トナリ、爾後文部省出仕(二回)、文部大助教、文部少教授、東京醫學校長心得、宮内省、内務省等御用掛、東京大學教授兼東京大學醫學部長、醫科大學教授兼醫科大學長、學校衛生顧問會議議長等ニ歷任シ、又學士會院會員、日本大博覽會評議員、中央衛生會委員(數回)、其ノ他

各種ノ委員、委員長、審査官タルコト頗ル多ク、米國費府へ出張ヲ命セラレ、萬國醫學會ノ副會長ニ舉ケラル、帝國學士院會員、中央衛生會委員タリ○明治廿四年貴族院議員ニ勅任セラレ

何 禮 之

天保十一年七月生、東京府士族、舊長崎錦鷄間祇候、正四位、勳二等

明治元年開成所御用掛ニ召出サレ、一等譯官ヲ命セラレ、爾後造幣局權判事、洋學校督務、大學少博士、少教授、外務書記官、驛遞寮出仕、内務權大丞、同大書記官、圖書局長、元老院議員等ニ歷任セリ、特命全權大使歐米各國へ被差遣ニ付一等書記官トシテ隨行仰付ラル、又東京市名譽職參事會員ニ當選ス○明治廿四年貴族院議員ニ勅任セラレ

中 島 永 元

弘化元年七月生、佐賀縣士族、舊佐賀藩錦鷄間祇候、正四位、勳三等

明治二年大學中助教、大寮長、權少丞トナリ、爾後文部權少丞、同大書記官ニ累進シ、大學分校長、第三高等中學校長、文部書記官、同省參事官、元老院議員等ニ歷任シ、又田中文部大丞歐米各國被差遣ニ付隨行仰付ラレタリ○明治廿四年貴族院議員ニ勅任セラレ

湯 地 定 基

天保十四年九月生、北海道廳士族、舊鹿兒島藩正四位、勳三等

米國留學農政學研究ス○明治五年以降開拓使出仕、大主典、同少書記官、根室縣令、北海道廳理事官、元老院議員等ニ歷任シ、又獨米二國へ差遣ハサレタリ○明治廿四年貴族院議員ニ勅任セラレ

森 山 茂

天保十三年九月生、東京府平民、舊大和錦鷄間祇候、正四位、勳三等

明治二年外務少録ニ任シ、爾後同權大丞、元老院大書記官、同書記官、同議官、富山縣知事等ニ歷任セリ、又機務ヲ帶ヒ朝鮮國ニ差遣ハサルコト七回○明治廿七年貴族院議員ニ勅任セラレ

馬 屋 原 彰

弘化元年二月生、東京府士族、舊山口藩錦鷄間祇候、正四位、勳三等

明治四年民部庶務大術、大藏戶籍司出仕トナリ、爾後正院大主記、左院五等議官、太政官權大書記官、參事院議官補、法制局司法部長、行政裁判所評定官等ニ歷任シ、又國勢調査準備委員會委員仰付ラル○明治廿四年貴族院議員ニ勅任セラレ

原 保 太 郎

弘化元年七月生、東京府士族錦鷄間祇候、正四位、勳二等

米國留學仰付ラル○明治元年東山道總督隨行、上野國巡察使兼軍監仰付ラレ、爾後兵庫縣少書記官、同大書記官、山口縣令、山口、福島諸縣ノ知事、北海道廳長官、山林局長兼林野整理局長等ニ歷任シ、一タヒ帝國議會ニ於ケル政府委員トナリ、又第五回内國勸業博覽會、臨時博覽會等評議員、土木會、臨時治水調査會等委員ニ舉ケラル、維新史料編纂會委員タリ○明治三十六年貴族院議員ニ勅任セラレ

藤 田 四 郎

文久元年六月生、東京府平民、舊鳥羽藩錦鷄間祇候、正四位、勳三等

東京大學法科卒業○明治十九年交際官試補(維也納、柏林等在勤)ニ任シ、爾後遞信大臣秘書官、兼任遞信省參事官、農商務省參事官(二回)、兼任農商務大臣秘書官、農商務省特許局長、同農務局長、農商務次官(前後二回)、同總務長官等ニ歷任シ、各種ノ委員及委員長ニ舉ケラルコト頗ル多ク、又帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト前後七回、曾テ萬國郵便會議委員トシテ埃國維也納へ、北太平洋及白令海ニ於ケル臘納獸保護問題評議會委員トシテ米國華盛頓へ差遣ハサレタリ○明治三十四年貴族院議員ニ勅任セラレ

鯨 島 武 之 助

安政二年九月生、鹿兒島縣士族、舊鹿兒島藩正四位、勳四等

米國留學○明治七年東京外國語學校教諭トナリ、爾後東京府中學校長、外務省書記生(華盛頓在勤)、外務大臣秘書官、公使館書記官(羅馬在勤)、兼外務省參事官、内閣總理大臣秘書官、辦理公使、内閣書記官長(二回)等ニ歴任シ、又鐵道會議議員タリ○明治廿九年貴族院議員ニ勅任セラレ

奧山政敬

弘化二年三月生、鹿兒島縣士族
退職判事、正四位、勳三等

明治二年大學少得業生兼少寮長ニ任シ、爾後文部省七等出仕、大阪師範學校長、判事(東京裁判所詰、松山裁判所長、愛媛松山等重罪裁判所長、大審院詰、大審院評定官、名古屋始審裁判所長、大阪地方裁判所長、廣島控訴院長)、檢事(函館、廣島等控訴院檢事長、大審院檢事)ニ歴任セリ○明治三十四年貴族院議員ニ勅任セラレ

富井政章

安政五年九月生、京都府士族
正四位、勳二等、東京帝國大學名譽教授、法學博士

京都中學校、東京外國語學校等卒業、佛國ニ留學シ法學博士ノ學位ヲ受ク○明治十七年以降司法省雇、文部省御用掛、制度取調局御用掛、東京大學教授、法科大學教授、同教頭、同大學長、私立法律學校監督委員等ニ歴任シ、文官高等試験臨時委員、其ノ他法律ニ關スル各種ノ委員仰付ラレ、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト數回、又萬國東洋學會ニ參列ノ爲佛國ニ差遣ハサレ併テ御用有之英獨墮伊ノ諸國ニ差遣ハサル、又帝國學士院會員、法律取調委員、東京帝國大學法科大學講師タリ○明治廿四年貴族院議員ニ勅任セラレ

岡田良平

元治元年五月生、靜岡縣平民
錦鷄間祇候、正四位、勳三等

帝國大學文科大學卒業○明治廿二年以降第一高等中學校教諭、同教授、文部省視學官(兼任トモ前後三回)、同參事官(兼任トモ前後七回)、同書記官、同參與官、同實業學務局長、同總務長

官、同次官、山口高等中學校長(心得トモ)、高等教育會議議員(二回)、宮内省御用掛(勅任待遇)、錦鷄間祇候、京都帝國大學總長(兼トモ)、東北帝國大學總長事務取扱等ニ歴任シ、日本大博覽會、日英博覽會等評議員、高等教育會議議員、其ノ他各種ノ委員長、委員ニ舉ケラレタルコト頗ル多ク、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト七回、又佛國巴里ニ於テ萬國衛生及人口學會議開設ニ付委員トシテ參列仰付ラル、教科用圖書調查委員會委員、教育調查會會員タリ○明治三十七年貴族院議員ニ勅任セラレ

關清英

嘉永四年五月生、佐賀縣士族、舊佐賀藩
正四位、勳二等

明治九年司法省出仕、檢事補ニ任シ、爾後檢事ニ進ミ、其ノ間九州臨時裁判所、東京、京都、大阪、長崎、宮津、鹿兒島等各裁判所所在勤、鹿兒島、仙臺、名古屋等各地方裁判所檢事正等ニ補セラレ、次テ佐賀、群馬、長崎諸縣ノ縣知事、警視總監等ニ歴任セリ○明治廿九年貴族院議員ニ勅任セラレ

湯地定監

寬永二年十月生、北海道廳士族、舊鹿兒島藩
海軍機關中將、正四位、勳二等、功四級

米國留學、蒸汽機械學修業命セラレ○明治四年以降工部、兵部、海軍等各省出仕ヲ經テ海軍中機關士ニ任シ、現官ニ累進ス、其ノ間東海鎮守府、機關本部等在勤、迅鯨、扶桑、筑紫等諸艦乘組、筑紫、浪速、扶桑、高千穂等諸艦機關長、橫須賀(二回)、佐世保等各豫備艦機關長、橫須賀知港事廳事務補助、橫須賀、吳等各鎮守府機關長兼豫備艦部機關長、常備艦隊機關長、海軍省軍務局機關課長、海軍機關學校長、海軍教育本部第二部長(二回)、大本營附等ニ補セラレ、明治二十七八年及同三十七八年ノ戰役ニ從軍シ、海軍ニ關スル各種ノ委員長、委員タルコト少カラス、又御用有之英國ニ差遣ハサレタリ○明治三十九年貴族院議員ニ勅任セラレ

石黒五十二

安政二年六月生、東京府士族、舊金澤藩士
錦鷄間祇候、正四位、勳二等、工學博士

第二編 現在議員略履歴(勅選)

東京大學土木工學科卒業、英國留學ヲ命セラル。明治十一年以降神奈川縣土木課履、内務省兼文部省(東京大學理學部)御用掛(准奏任)、東京大學理學部講師、同御用掛(理學部)、内務、海軍、土木監督署、臨時橫濱築港局等ノ各技師(兼トモ)、土木監督署、海軍等ノ各技監、海軍省土木工事調査囑託、臨時海軍建築部工務監等ニ歴任シ、其ノ間東京大學諮詢總會、同理學部諮詢部會等會員、福岡、大分、佐賀、熊本四縣内土木局直轄工事監督、鐵道會議議員、其ノ他諸種ノ委員等ニ舉ケラレ、歐米各國へ出張仰付ラル、震災豫防調査委員タリ。○明治四十年貴族院議員ニ勅任セラル

山田 春三

弘化三年六月生、山口縣士族、錦鷄間祇候、正四位、勳二等

明治十年以降山口縣屬、同警部兼副典獄、山口、巖手等各縣警部長、巖手、山梨、奈良、佐賀、愛知、京都等各府縣書記官、福島、埼玉、静岡、廣島等各縣知事等ニ歴任シ、其ノ間縣參事會員及各種ノ主務官、委員長、委員等ニ舉ケラレタリ。○明治三十九年貴族院議員ニ勅任セラル

千頭 清臣

安政三年十一月生、高知縣士族、錦鷄間祇候、正四位、勳二等

東京大學文學部卒業、英國留學。○明治十三年以降東京大學豫備門教員、同教諭、同大學法理文三學部兼務、同大學御用掛(法文學部准講師)兼務、第一高等中學教諭、高知縣尋常中學校長、第二高等學校大學豫科講師、鹿兒島高等中學校造士館、第二高等學校等教授、内務書記官、兼同參事官、栃木、宮城、新潟、鹿兒島等各縣知事ニ歴任シ、又通俗教育調査委員會委員ニ舉ケラル。○明治四十年貴族院議員ニ勅任セラル

仁尾 惟茂

嘉永五年十二月生、東京府士族、舊高知藩四位、勳二等

明治二年以降高知藩第四砲隊指揮官、同辰星隊々長、群馬縣出仕、群馬、度會、白川、福岡等各縣屬

(兼トモ)、白川、熊本、福岡等各縣警部(兼トモ)、福岡縣收稅長、大藏省主稅官、兼同參事官、兼臨時葉煙草取扱所建築部事務官、司稅官(東京稅務管理局長)、專賣局長、臨時煙草製造進備局作業部長、煙草專賣局長、同長官、專賣局長官等ニ歴任シ、帝國議會交涉事務取調(二回)、東京市區改正、廣軌鐵道改築準備委員會等委員ニ舉ケラル、又御用有之朝鮮國へ、佛埃伊三國へ及清韓兩國へ孰モ差遣ハサレタリ。○明治四十年貴族院議員ニ勅任セラル

石渡 敏一

安政六年十一月生、東京府士族、舊静岡錦鷄間祇候、正四位、勳二等、法學博士

東京大學法學部卒業、歐洲留學命セラル。○明治十七年司法省御用掛(奏任官取扱トモ)トナリ、爾後東京始審裁判所判事試補、同檢事試補、東京始審裁判所、東京控訴院、大審院等檢事(兼トモ前後三回)、司法省參事官(兼トモ前後三回)、同民刑局長、同總務長官、同次官、内閣書記官長等ニ歴任ス、又東京帝國大學法科大學、警察監獄學校等講師、法典調査會幹事、同殘務取扱、高等捕獲審檢所檢察官、帝室制度調査局御用掛、同殘務取扱等ニ舉ケラレ、其ノ間各種ノ取調掛、委員等ニ舉ケラレタルコト少カラス、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト十一回、白耳義國ブラッセル府第六回萬國監獄會議へ列ス、法律取調委員タリ。○明治四十年貴族院議員ニ勅任セラル

加藤 恒忠

安政六年正月生、愛媛縣平民、舊松山藩士正四位、勳二等

明治十九年交際官試補ニ任シ、爾後公使館書記官(數回)、外務省參事官、同書記官、外務大臣秘書官(兼トモ)、辨理公使、特命全權公使等ニ歴任シ、其ノ間佛白二國ニ在勤シ、西皇結婚式へ特派使節トシテ參列仰付ラル、又衆議院議員ニ當選セリ。○明治四十五年貴族院議員ニ勅任セラル

澤柳 政太郎

慶應元年四月生、長野縣士族正四位、勳三等、文學博士

第二編 現在議員略履歴(勅選)

帝國大學文科大學卒業○明治二十三年以降文部試補、同書記官(兼トモ三回)、同大臣秘書官、同普通學務局長、同次官、京都府大谷尋常中學校、群馬縣尋常中學校、第二高等學校、第一高等學校、高等師範學校(兼任)等校長、高等商業學校、廣島高等師範學校等校長事務取扱、高等師範學校研究科教育制度講師、東京高等商業學校講師、東北帝國大學、京都帝國大學等ノ總長等ニ歴任シ、帝國議會ノ政府委員タルコト八回、學術學務其ノ他ニ關スル各種ノ委員長、委員タルコト多ク、高等教育會議議員(二回)、臨時博覽會事務局、日本大博覽會等評議員ニ舉ケラレ、獨國漢堡開催第十三回萬國東洋學會會議ニ委員トシテ參列仰付ラル、又倫敦大學ノ招聘ニ應シ英國ヘ渡航セリ、神宮皇學館評議員タリ○明治四十二年貴族院議員ニ勅任セララル

木内重四郎

慶應元年十二月生、千葉縣平民
正四位、勳二等

帝國大學法科大學卒業、大學院ニテ修學○明治二十二年法制局參事官試補トナリ、爾後貴族院書記官(兼トモ)、兼農商務省參事官、內務書記官、兼行政裁判所評定官、農商務省商務局長、同商工局長、統監府農商工務總長、同參事官、同特許局長、朝鮮總督府農商工部長官等ニ、又韓國政府內務、農商工部等次官ニ歴任シ、其ノ間帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト四回、第五回內國勸業博覽會、日本大博覽會等評議員、東京工業學校商議委員其ノ他諸種ノ委員長、委員(韓國トモ)ニ舉ケラル、又御用有之ニタヒ歐米各國ヘ、及米墨兩國ヘ執モ差遣ハサレ、巴里開催商工業萬國會及幼年職工ノ保護ニ關スル萬國會議ニ委員トシテ參列セリ○明治四十四年貴族院議員ニ勅任セララル

加太邦憲

嘉永二年五月生、東京府士族、舊桑名藩士
退職判事、正四位、勳三等

司法省法學校卒業、明治十九年在官ノ儘洋行差許サル○明治九年司法省出仕トナリ、爾後司法屬、同少書記官(權トモ)、兼文部省御用掛、兼同權少書記官、東京法學校校長及東京大學法學部長各任セララル
心得、判事、始審裁判所判事、天津始審裁判所長等ニ歴任シ、更ニ判事ニ任セラレ、其ノ間大審院、東京始審裁判所等在勤、大津始審裁判所重罪裁判長、大津、京都、東京等各地方裁判所長、大阪控訴院長等ニ補セララル、又第三高等中學校法學部教授囑託、歐洲在留中司法部內行政及裁判事務取調、法學生徒入學、判事登川、代言出願人等試驗委員、判事檢事登用第二回試驗委員長(數回)裁判所及檢事局事務章程調查委員等ヲ命セララル、維新史料編纂會委員タリ○明治四十三年貴族院議員ニ勅任セララル

安廣伴一郎

安政六年十月生、福岡縣平民
正四位、勳一等

香港中央書院卒業、北京ニ於テ支那學修業、「ケンブリッジ」大學校法律學科ヲ卒業シ學位ヲ受ク○明治二十二年第三高等中學校教諭ニ任シ、爾後內閣書記官、法制局、內務省等參事官、司法、內務等大臣秘書官、內務省社寺局長、文部省普通學務局長、逓信省郵務局長、內閣書記官長、兼任製鐵所長官、農商務總務局長、法制局長官兼內閣恩給局長、臨時內閣書記官長事務取扱等ニ歴任シ、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト四回、其ノ他各種ノ委員ニ舉ケラル、又御用有之朝鮮ヘ出張仰付ラレタリ○明治三十三年貴族院議員ニ勅任セララル

阪本鈺之助

安政四年六月生、東京府士族、舊名古屋藩士
正四位、勳三等

明治十二年內務屬ニ任シ、爾後滋賀縣屬、控訴院(函館、名古屋在勤)、滋賀縣、岡山縣、貴族院、內務省、東京府等書記官(兼トモ)、奇良縣參事官、福井、鹿兒島等各縣知事ニ歴任シ、其ノ間滋賀縣師範學校長事務攝理、同縣知事代理、貴族院沿革誌并總覽編纂長、東京農工銀行監理官、同市區改正委員會幹事、同地方森林會議員、同府參事會員其ノ他各種ノ委員、委員長等ヲ命セララル、又名古屋市長タリ○明治四十四年貴族院議員ニ勅任セララル

若槻禮次郎

慶應二年二月生、東京府士族
大藏大臣、正四位、勳一等

帝國大學法科大學卒業○明治二十五年大藏省試補トナリ、爾後大藏屬ヨリ愛媛縣收稅長、大藏書記官(二回)、兼同參事官(三回)、同主稅官、同主稅局長、同次官(二回)、兼臨時葉煙草取扱所建築部事務官、兼行政裁判所評定官、日本勸業銀行監理官、釀造試驗所長、兼臨時稅關工部部長、兼臨時國債整理局長、帝國日本政府特派財政委員(英、佛駐在)、錦鷄間祇候、大藏大臣等ニ歷任シ、其ノ間帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト十四回、鐵道會議議員(二回)、日本大博覽會、日英博覽會等評議員、其ノ他各種ノ委員ニ舉ケラル、又御用有之歐洲へ、及歐米各國へ執モ差遣ハサレタリ○明治四十四年貴族院議員ニ勅任セラル

福永吉之助

安政三年十二月生、鹿兒島縣士族
海軍主計總監、正四位、勳二等、功四級

明治十二年海軍主計副ニ任シ、現官ニ累進ス、其ノ間富士山、金剛、淺間等諸艦主計科、海門、大和、嚴島等諸艦主計長、橫須賀海兵團主計長(兼トモ)、會計局出勤、主計學校教授兼監事、橫須賀、佐世保等鎮守府主計部科長、主管、海軍省經理局第二課僚、課長(心得トモ)、各鎮守府特命檢閱使附兼主計官練習所長、橫須賀鎮守府經理部長、兼同主計長、海軍省經理局長等ニ任補セラレ、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト四回、臨時制度整理局委員其ノ他海軍ニ關スル各種ノ委員ニ舉ケラル、曩ニ隣邦諸港ニ廻航シ又英國へ出張仰付ラレタリ○明治四十五年貴族院議員ニ勅任セラル

橋本圭三郎

慶應元年九月生、新潟縣士族
正四位、勳三等

法科大學卒業○法制局試補ヲ經テ、明治二十五年樞密院書記官ニ任シ、爾後兼法制局參事官、大藏書記官(兼トモ)、兼大藏省參事官(二回)、主稅官、專賣局鑑定官、兼事務官、專賣局書記官、兼臨時煙草製造準備局事務官(二回)、煙草專賣局書記官、橫濱稅關長、臨時國債整理局長、主計局長、大藏次官、農商務次官、大禮使參與官等ニ歷任シ、其ノ間日本銀行、日本興業銀行等監理官、日本專管居留地經營事務監督官、日本大博覽會理事官、評議員、大喪使事務官、鐵道會議議員、其ノ他各種ノ委員長、委員ニ舉ケラル、又帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト十二回、御用有之歐米各國へ差遣ハサレタリ○大正元年貴族院議員ニ勅任セラル

倉知鐵吉

明治三年十二月生、東京府士族
錦鷄間祇候、正四位、勳二等

帝國大學法科卒業、○明治二十七年內務屬ニ任シ、爾後外務省參事官(二回)、公使館書記官(獨逸在勤)、農商務、統監府等書記官兼任、日本專管居留地經營事務監督官、橫須賀捕獲檢所評定官、政務局長、外務次官、大喪使事務官等ニ歷任シ、其ノ間帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト八回、其ノ他各種ノ委員ニ舉ケラル、又御用有之清韓兩國へ、第二回平和會議開設ニ付委員隨員トシテ和蘭國へ執モ差遣ハサレタリ○大正二年貴族院議員ニ勅任セラル

山之内一次

慶應二年十一月生、鹿兒島縣士族
錦鷄間祇候、正四位、勳二等

帝國大學法科大學卒業、歐洲漫遊○內務省試補ヲ經テ、明治二十四年熊本縣參事官ニ任シ、爾後內務書記官(三回)、同事務官、同兼任參事官、熊本縣警部長、熊本、廣島兩縣ノ書記官、法制局參事官、青森縣知事、遞信省鐵道局長、兼帝國鐵道廳副總裁、鐵道院理事、大喪使事務官(殘務取扱トモ)、明治天皇露極供奉、北海道廳長官、內閣書記官長、大禮使次官(殘務取扱トモ)、大喪使次官等ニ歷任シ、其ノ間熊本縣參事會委員、廣島地方森林會議員、鐵道會議議員(三回)、威仁親王葬儀掛、其ノ他各種ノ會社監理官、委員長、委員等ニ舉ケラル、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト九回、ブリュセル府開設徵毒其ノ他ノ花柳病豫防萬國會議及巴里府開設ノ首者狀態改良萬國會議へ委員トシテ參列執モ仰付ラレタリ○大正三年貴族院議員ニ勅任セラル

第二編 現在議員略履歷(勅選)

勝田主計

明治二年九月生、愛媛縣士族
正四位、勳二等

帝國大學法科大學卒業、歐洲漫遊○明治二十八年大藏屬ニ任シ、爾後橫濱稅關屬兼任、同稅關檢査官、同事務官、稅務監督官、函館稅關長(兼トモ二回)、同稅務監理局長(兼トモ)、大藏書記官(兼トモ)、臨時國債整理局書記官、同局長(心得トモ)、大藏省理財局長、大藏次官、大禮使參與官(殘務取扱トモ)、大喪使事務官等ニ歷任シ、其ノ間鐵道會議議員、日本銀行、正金銀行、東洋拓殖株式會社各監理官其ノ他諸種ノ委員等ニ舉ケラル、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト九回、又御用有之浦潮斯德、歐州及清韓兩國へ執モ差遣ハサレタリ○大正三年貴族院議員ニ勅任セラレ

磯部四郎

嘉永四年七月生、富山縣士族
從四位、勳二等、法學博士

明法寮ニテ修學、佛國ニ留學シ學位ヲ受ク○明治十二年判事ニ任シ爾後司法書記官(二回)、太政官書記官、參事院議官補(員外トモ)ヲ經テ、檢事(二回)、判事等ニ歷任シ、東京控訴裁判所及大審院ニ在勤ス、其ノ間司法省法學生徒教授、警官練習所講義囑託、其ノ他各種ノ委員ニ舉ケラル、元老院ニ於ケル内閣委員タルコト二回、ニタヒ衆議院議員ニ當選セリ○大正三年貴族院議員ニ勅任セラレ

木場貞長

安政六年九月生、東京府士族、舊鹿兒島藩
行政裁判所評定官、從四位、勳二等、法學博士

東京大學文學部政治經濟學科卒業、獨逸留學申付ラル○明治十三年以降文部省御用掛、同大臣秘書官(事務取扱トモ前後三回)、同參事官(心得トモ前後三回)、同書記官、同普通學務局長(心得トモ)、同參與官、同官房長、同實業學務局長事務取扱、同次官、兵庫縣書記官、法制局參事官、錦鷄間祇候等ニ歷任シ、其ノ間法科大學、高等師範學校等講師囑託、圖書編纂審查委員長、高等教育會議議員(二回)、文官高等懲戒豫備委員等ニ舉ケラレタリ○明治三十九年貴族院議員ニ勅

任セラレ

杉田定一

嘉永四年六月生、福井縣平民
從四位、勳四等

漢學ヲ修ム、次テ清、英二國留學、歐米及佛國巡遊○明治三十一年北海道廳長官ニ任シ、爾後衆議院副議長、議長ニ歷任ス、曩ニ福井縣會議員、議長ニ舉ケラル、又衆議院議員ニ當選スルコト九回○明治四十五年貴族院議員ニ勅任セラレ

高木豐三

嘉永五年五月生、東京府平民
從四位、勳三等、法學博士

明治八年法學生徒申付ラル、同十七年司法省法學校卒業○明治十七年以降判事(東京始審裁判所詰、福島始審裁判所長、同重罪裁判所長、同地方裁判所長、大審院判事)、高等捕獲審檢所評定官、司法省民刑局長、同次官等ニ歷任シ、法典調査會委員、法科大學講師囑託、各種ノ委員ニ舉ケラル、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト二回、又在官ノ儘自費洋行差許サル、法律取調委員タリ○明治三十三年貴族院議員ニ勅任セラレ

馬屋原二郎

弘化四年十月生、東京府平民
退職判事、從四位、勳四等

明治八年以降司法省出仕、七等判事、九州臨時裁判所御用、判事(函館、神戸等各始審裁判所長、大審院評定官、神戸重罪裁判所長、神戸、大阪等各地方裁判所長、大審院判事)等ニ歷任ス、臨時博覽會評議員タリ○明治三十六年貴族院議員ニ勅任セラレ

磯邊包義

天保十三年六月生、東京府平民
海軍少將、從四位、勳二等

明治元年攝津艦乗組トナリ、北越ノ戰役ニ從ヒ、同二年以降攝津艦長代、飛龍丸、大阪丸等ノ船長、千代田形、第一丁卯、孟春、春日、清輝、迅鯨、海門、金剛、浪速、高千穂、巖島等ノ各艦長ト

第二編 現在議員略履歴(勅選)

ナリ、其ノ間海軍大尉ヨリ現官ニ累進シ、小野濱造船所長、横須賀屯營長、豫備艦總理、當備小艦隊參謀長、軍法會議判士長、佐世保、吳等軍港司令官ニ歷任ス、臺灣蕃地處分ニ付同地へ出張シ、朝鮮事變ニ付同國へ回航シ、又軍艦巖島同航委員長トシテ佛國へ出張セリ○明治廿九年貴族院議員ニ勅任セラル

兒 玉 利 國

天保十一年四月生、鹿兒島縣士族、舊鹿兒島藩海軍少將、從四位、勳二等

明治四年以後海軍大尉御親兵小隊長、海軍省出仕、同大秘書、東海水兵本營副長、同分營長、浦賀水兵練習所長、海門、金剛、扶桑ノ諸艦長、常備小艦隊參謀長、參謀本部海軍部第一局長、横須賀鎮守府參謀長、臺灣總督府民政局事務官(勅任)等ニ歷任シ、御用有之再ヒ臺灣蕃地ニ差遣ハサル、又匿名ヲ以テ清國視察仰付ラル○明治廿九年貴族院議員ニ任セラル

室 田 義 文

弘化四年九月生、東京府士族、錦鷄間祇候、從四位、勳二等

明治四年外務權少錄ニ任シ、爾後領事(ホノルル在勤)、外務權少書記官、同書記官(前後二回)、領事(釜山在勤)、外務省會計局長、總領事(釜山、墨西哥)、兼任外交事務官、辨理公使(墨西哥國駐劄、秘露國駐劄公使兼勳)、兼任總領事(墨西哥在勤)、特命全權公使(無任所)等ニ歷任シ、山口縣防疫評議員ニ舉ケラル、又曾テ御用有之清國へ差遣ハサレタリ○明治廿四年貴族院議員ニ勅任セラル

安 樂 兼 道

嘉永三年十二月生、鹿兒島縣士族、錦鷄間祇候、從四位、勳二等

明治八年警部補ニ任シ、累進シテ五等警視兼二等警察使トナリ、爾後高知、熊本二縣ノ警部長、熊本縣書記官、山口、福島、岐阜三縣ノ知事、内務省警保局長、警視總監(前後四回)等ニ歷任シ、其ノ間日本大博覽會評議員、大喪使事務官(二回)、大禮使參與官ニ、其ノ他各種ノ委員長、委員ニ

舉ケラレタルコト數回、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト一回、○明治三十七年貴族院議員ニ勅任セラル

古 莊 嘉 門

天保十一年十二月生、熊本縣平民、舊熊本藩從四位、勳三等

明治七年司法省出仕ニ、次テ七等判事、判事(以上大阪上等裁判所任勤)ニ任シ、爾後内務省御用掛(准奏任)、青森、大分等ノ各縣書記官、第一高等中學校長、陸軍省雇員(大本營附、臺南縣知事心得)、臺灣總督府民政局事務官、群馬(二回)、三重等ノ各縣知事ニ歷任シ、又衆議院議員ニ當選セリ○明治三十八年貴族院議員ニ勅任セラル

下 條 正 雄

天保十四年七月生、山形縣士族、舊米澤藩海軍主計大監、從四位、勳四等

明治六年海軍少秘書トナリ、爾後海軍大秘書ヨリ同少書記官、同主計少監、同督買部理事官、横須賀鎮守府會計監督部長、佐世保鎮守府主計部長、海軍主計學校長、海軍部内ノ諸課長等ニ歷任シ、各種博覽會ノ評議員、鑑査官タルコト數回、東宮御所裝飾品、表慶館陳列品等各取調委員ニ舉ケラル、又東京帝室博物館評議員(勅任待遇)、臨時博覽會評議員タリ○明治三十年貴族院議員ニ勅任セラル

古 賀 廉 造

安政五年正月生、佐賀縣士族、錦鷄間祇候、從四位、勳三等、法學博士

司法省法學校卒業○明治十七年檢事補ニ任シ、東京始審裁判所詰トナリ、爾後司法省御用掛(奏任取扱)ヲ經テ檢事、判事(二回)ニ歷任シ、其ノ間東京始審判所、東京地方裁判所、東京控訴院、大審院等ノ在勤、會計檢査官懲戒裁判所豫備檢査官ニ補セラレ、次テ内務省警保局長(二回)ニ任ス、又大喪使事務官、明治天皇露柩供奉、東京帝國大學法科大學、警察監獄學校、高等商業學校等講師其ノ他諸種ノ委員ニ舉ケラル、帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト六回、御用有之

第二編 現在議員略履歷(勅選)

佛獨兩國へ差遣ハサレタリ○大正元年貴族院議員ニ勅任セララル
安立綱之 安政六年十一月生、東京府士族、舊鹿兒島藩士
從四位、勳二等

明治十一年警視廳警部試補ニ任シ、爾後同警部補、巡查副長、廣島縣警部(兼トモ)、同縣屬、警
視廳警部、同警視(二回)、愛媛、福岡、長崎三縣ノ警部長、佐賀縣書記官、内務省警保局長、警
視總監等ニ歷任ス、又佐賀縣農工銀行監理官、警察監獄學校商議委員等ヲ命セラレタリ○明治
四十二年貴族院議員ニ勅任セララル

南

弘

明治二年十月生、富山縣平民
休職福岡縣知事、從四位、勳四等

帝國大學法科大學政治學科卒業○明治三十一年内閣書記官ニ任シ、爾後兼任行政裁判所評定官、
内閣書記官長(二回)、大喪使事務官等ニ歷任シ、其ノ間彰仁親王葬儀掛、政務調査、臨時制度
整理局、衆議院議員選舉法改正調査會等委員ニ舉ケラレタリ○大正元年貴族院議員ニ勅任セラ
ル

有松英義

文久三年六月生、東京府士族
樞密院書記官長、高等捕獲審檢所檢察官、從四位、勳二等

獨逸學協會學校卒業○判事試補ヲ經テ、明治二十三年芝區裁判所判事ニ任シ、爾後司法省、農商
務省、法制局(兼トモ)等參事官、内務書記官、同警保局長(二回)、警察監獄學校講師(二回)、三
重縣知事、帝室林野管理局長官、宗秩寮審議官等ニ歷任シ、其ノ間帝國議會ニ於ケル政府委員タ
ルコト三回、内務省議會提出法案審査、條約實施準備(二回)、中央衛生會、警察監獄學校商議、
法典調査會、政務調査等委員ニ舉ケラル、又西班牙萬國衛生及デモグラフィイ會議へ、及白耳
義放免囚徒并棄兒保護ニ關スル萬國會議へ執モ委員トシテ參列仰付ラレタリ○明治四十四年貴
族院議員ニ勅任セララル

水野鍊太郎

明治元年一月生、東京府士族
錦鷄間祇候、從四位、勳二等、法學博士

法科大學卒業○農商務省試補及屬ヲ經テ明治二十七年以降内務省參事官(兼トモ七回)、内務大
臣秘書官(兼トモ四回)、兼内務書記官、神社局長、土木局長、兼地方局長、兼鐵道院理事、内務次官
等ニ歷任シ、其ノ間帝國議會ニ於ケル政府委員タルコト九回、第一高等學校英語教授、東京帝
國大學法科大學講師等囑託、日本大博覽會理事官、大喪使事務官(二回)、明治天皇靈柩供奉、大
禮使參與官、鐵道會議議員其ノ他諸種ノ委員長、委員ニ舉ケラル、又御用有之再ヒ歐米各國へ
差遣ハサレ、獨逸開設萬國著作權保護同盟會議へ委員トシテ參列ス、神社奉祀調査會委員タリ
○大正元年貴族院議員ニ勅任セララル

高橋新吉

弘化四年八月生、鹿兒島縣士族、舊鹿兒島藩
錦鷄間祇候、正五位、勳三等

海外留學申付ラル○明治七年以降租稅寮出仕、大藏權少書記官、長崎、神戸、大阪等稅關長、長
崎縣大書記官、領事(紐育在勤)、農商務書記官、同省商務局長、日本勸業銀行總裁(二回)等ニ歷
任シ、南滿洲鐵道株式會社、東洋拓殖株式會社、韓國銀行等設立委員、臨時治水調査會、生産
調査會等委員ニ舉ケラレタリ○明治三十年貴族院議員ニ勅任セララル

兒玉淳一郎

弘化三年五月生、東京府平民、舊山口藩
退職判事、正五位、勳四等

法學修業ノ爲米國へ差遣ハサル○明治六年以降司法省出仕、左院御用掛、五等議官、正院出仕、
地方官會議書記官、判事、司法少書記官、大審院、控訴院等ノ評定官、大審院判事等ニ歷任シ、
其ノ間宮城、長崎、大阪、東京ノ各地方裁判所ニ在勤セリ○明治廿七年貴族院議員ニ勅任セララル

伊澤修二

嘉永四年六月生、長野縣士族、舊高遠藩
正五位、勳三等

第二編 現在議員略履歴(勅選)

第二編 現在議員略履歴(勅選)

四百四十

明治五年文部省出仕トナリ、以後米國ニ差遣ハサレ、同十八年以降文部權大書記官、同省編輯局長、東京音樂學校長、兼東京盲啞學校長、兼文部省參事官、臺灣總督府民政局事務官、高等師範學校長等ニ歷任シ、各種小學校用書審查委員トナルコト三回、高等教育會議議員(同副議長トモ數回)、日本大博覽會評議員、臨時假名遣調查會委員等ヲ仰付ラレタリ○明治三十年貴族院議員ニ勅任セラル

岩村兼善

弘化二年十一月生、宮崎縣士族、海軍主計總監、正五位、勳三等

明治元年岩鼻縣出仕トナリ、爾後同判事、同大參事、內務省、海軍省等出仕、海軍三等屬、同中秘書、大秘書、同權少書記官、少書記官ヨリ主計少監ニ任シ、現官ニ累進ス、其ノ間海軍大臣秘書官(三回)、橫須賀鎮守府司令長官秘書、橫須賀、佐世保ノ各鎮守府主計部長、佐世保鎮守府會計監督部長、佐世保、橫須賀ノ各鎮守府監督部長等ニ任補セラル、又海軍ニ關スル各種ノ委員ニ舉ケラレタルコト數回○明治三十七年貴族院議員ニ勅任セラル

徳富猪一郎

文久三年正月生、熊本縣士族、舊熊本藩士、正五位

京都同志社ニテ修學、次テ岡松麩谷ノ家塾ニ學フ、歐米及清韓漫遊○明治三十年內務省參事官(勅任)ニ任シ、爾後ニタヒ國語調査會、文藝委員會等委員ニ舉ケラレタリ○明治四十四年貴族院議員ニ勅任セラル

江原素六

天保十三年正月生、靜岡縣平民、勳四等

海外視察仰付ラル○明治元年靜岡藩少參事ニ任シ、爾後靜岡藩廳出仕、靜岡縣師範學校、沼津中學校等校長、同駿東郡長等ニ歷任シ、靜岡縣會議員、高等教育會議議員(三回)、教科用圖書調査委員會委員等ニ舉ケラル、又六タヒ衆議院議員ニ當選ス、臨時博覽會評議員、教育調査會會

員タリ○明治四十五年貴族院議員ニ勅任セラル

鎌田榮吉

安政四年八月生、東京府士族、舊和歌山

明治九年以降慶應義塾教師(前後四回)、和歌山自修私學校長トナリ、又鹿兒島縣鹿兒島學校教頭、內務省御用掛(準委任)、大分縣中學校長、同師範學校長、兼學務課長、高等教育會議議員(二回)、臨時假名遣調查委員會委員等ニ歷任シ、歐米各國ヲ遊歴シ、又衆議院議員ニ當選セリ、慶應義塾長、教育調査會會員タリ○明治三十九年貴族院議員ニ勅任セラル

●多額納稅者

田島竹之助

慶應二年十二月生、埼玉縣士族、農從七位、勳四等

明治二十九年主獵官ニ任シ、爾後臨時治水調査會委員仰付ラル○多額納稅者議員ニ當選スルコト二回

海江田準一郎

明治十四年十月生、鹿兒島縣平民、商陸軍歩兵少尉、正八位

慶應義塾大學部法律科卒業

細谷巖太郎

弘化元年十一月生、山形縣平民、農勳四等

明治十三年以降山形縣會議員(二回)、副議長、議長ニ舉ケラレ、山形縣農工銀行取締役、頭取トナリ、又生産調査會委員仰付ラル○多額納稅者議員ニ當選スルコト二回

本間金之助

弘化二年二月生、秋田縣平民、商

第二編 現在議員略履歴(多額納稅者)

四百四十一

第二編 現在議員略履歴(多額納稅者)

四百四十二

明治二十五年以降秋田縣陶育院評議員、同實業調查會、同山林會(名譽)、秋田市教育會等會員、秋田市所得稅調查(補缺)、同學務等委員、秋田商業會議所議員等ニ舉ケラレ、第四十八銀行專務取締役トナレリ、又監製褒章ヲ賜ハル

小野 光 景

弘化二年三月生、神奈川縣平民、商

明治十二年以降橫濱市會議員、同名譽職參事會員(二回)、同商業學校及補習學校(二回)、生絲臨時、生絲檢查所等商議員、神奈川縣檢疫、所得稅調查(委員長トモ數回)、蠶絲業諮問會、橫濱稅務監督局營業稅審查、臨時橫濱港設備委員會等委員、橫濱商業會議所會員、議員(二回)、會頭(副トモ四回)等ニ舉ケラレ、正金銀行取締役、頭取(副トモ)、橫濱電氣鐵道株式會社、同火災海上運送信用株式會社等取締役、同生命保險株式會社々々長、蠶絲賣込業組合頭取(副トモ)、蠶絲貿易商組合頭取、同業組合組長等トナリ、神奈川縣會議員、常置委員ニ當選セリ○多額納稅者議員ニ當選スルコト二回

木村 誓 太郎

弘化四年正月生、三重縣平民、農、勳四等

明治十二年以降三重縣會議員(數回)、副議長、議長(二回)及衆議院議員(五回)ニ當選セリ○多額納稅者議員ニ當選スルコト二回

江原 芳 平

嘉永元年九月生、群馬縣平民、商

明治十五年以降群馬縣會議員ニ當選シ、又群馬縣主催一府十五縣聯合共進會評議員、常議員ニ舉ケラレタリ

宇野 清 左衛門

嘉永二年五月生、青森縣平民、農

明治三十二年以降大日本產業組合中央會會員、青森縣森林會議員等ニ舉ケラル、又青森縣農工銀行、尾上銀行、黑石銀行等取締役(頭取トモ)トナレリ

橋 清 治 郎

嘉永三年五月生、富山縣平民、商

中村 治 兵 衛

嘉永四年六月生、巖手縣平民、商

明治二十二年以降盛岡市會議員(二回)、名譽職參事會員、同所得稅臨時取調掛、巖手縣實業學校、同工業學校、同物產陳列場等商議員、巖手縣教育會名譽會員、同對時局產業及勤儉督勵部督勵、盛岡市所得稅調查等委員、日本赤十字社協贊委員、支部商議員等ニ舉ケラレ、北土株式會社、盛岡電氣株式會社、盛岡銀行(副會長)、巖手縣農工銀行等取締役、盛岡織物商組合長タリ

堀 内 半 三 郎

嘉永五年二月生、靜岡縣平民、商

明治十六年以降靜岡縣會議員ニ當選シ、又吉原銀行取締役、興業銀行頭取、原田製紙株式會社、富士電氣株式會社、富士軌道株式會社等社長タリ

田 中 源 太 郎

嘉永六年正月生、京都府平民、商、勳四等

明治十三年以降農商工高等會議議員、第四回、第五回內國勸業博覽會及臨時博覽會、京都市立商業學校及商業實習學校、恩賜財團濟生會等評議員、京都府地方衛生會、帝國議院建築調查會等委員、北海道拓殖銀行、日本興業銀行、韓國銀行、南滿洲鐵道株式會社、東洋拓殖株式會社等設立委員、京都商業會議所議員、特別會員、日本赤十字社支部副長、同幹事、同會計監事等ニ舉ケラレ、衆議院議員ニ當選スルコト三回、京都府會議員、議長(郡部會トモ)、常置委員等ニ舉ケラルコト數回、又京都株式取引所、京都商工銀行、龜岡銀行等頭取、京都織物株式會社、帝國製麻株式會社、京都鐵道株式會社、商工貯金銀行等取締役、京都電氣鐵道株式會社、京都工商株

第二編 現在議員略履歴(多額納稅者)

四百四十三

第二編 現在議員略履歷(多額納稅者)

式會社、宇治川電氣株式會社、京阪電氣鐵道株式會社、北海道拓殖銀行等監查役、京都織物株式會社、北海道製麻株式會社等委員、京都電燈株式會社委員長等トナレリ○多額納稅者議員ニ當選スルコト二回

武石橋次

嘉永六年二月生
大分縣平民、農

明治二十一年以降大分縣會議員(三回)ニ當選シ、大分縣農工銀行設立委員、同鐵道期成會幹事、同尙武會協贊員、日本赤十字社大分縣委員等ニ舉ケラル、又萬田銀行(頭取)、大分縣農工銀行、大分銀行、大分共立貯金銀行、豐州瓦斯株式會社等取締役トナレリ

石橋謹二

嘉永六年四月生
千葉縣平民、農

明治三十三年以降佐原稅務署所得及同署宅地賃賃價格等調査委員、東京稅務監督局所得及同局營業稅等審査委員ニ舉ケラル、又佐原興業銀行監查役、取締役、頭取等トナレリ

植竹三右衛門

安政元年二月生
栃木縣平民、商

明治三十年以降栃木縣農工銀行設立委員、大田原稅務署相續稅審査委員、日本赤十字社支部商議員等ニ舉ケラル、又黒羽銀行(頭取)、氏家銀行、那須商業銀行、栃木縣農工銀行、四十一銀行、下野新開株式會社、西澤金山探鑛株式會社等取締役、栃木縣農工銀行、下野銀行等監查役トナレリ

依田仙右衛門

安政二年六月生
長野縣平民、農

明治三十二年以降岩村田稅務署所得調査委員(數回)ニ舉ケラル

佐々田懋

安政二年十一月生
鳥根縣士族、農

明治七年以降鳥根縣會議員(濱田縣トモ)、議長、衆議院議員(三回)等ニ當選セリ(日本大新會)
佐藤友右衛門 安政三年七月生
新潟縣平民、農

麻生太吉

安政四年七月生
福岡縣平民、鑛業

明治二十四年以降衆議院議員ニ當選シ、福岡縣農工銀行、南滿洲鐵道株式會社等設立委員、港灣調査會委員(臨時トモ)ニ舉ケラル、又嘉穗銀行頭取、嘉穗電燈株式會社長、筑豐鐵道株式會社、九州鐵道株式會社、若松築港株式會社等取締役、若松築港株式會社、九州コークス株式會社等監查役、筑豐石炭鑛業組合總長等トナレリ

廣瀬滿正

安政六年十二月生
愛媛縣平民、農

荒井泰治

文久元年五月生
宮城縣士族、商

宮城中學校、佛學塾等ニテ修學○明治二十七年以降東京商品取引所專務理事、臺灣貯蓄銀行頭取、鹽水港製糖株式會社、打狗整地株式會社、臺灣肥料株式會社等取締役社長、臺灣拓殖合資會社理事、社長等トナレリ

松原芳太郎

文久元年十二月生
岐阜縣平民、農

明治二十四年以降衆議院議員及岐阜縣會議員ニ當選シ、揖斐稅務署所得調査委員(二回)、同會長、日本赤十字社支部商議員等ニ舉ケラル、大垣銀行、大垣共立銀行等取締役、濃飛農工銀行取締役、監查役等トナレリ

竹村與右衛門

文久元年十二月生
高知縣平民、商

第二編 現在議員略履歷(多額納稅者)

第二編 現在議員略履歴(多額納稅者)

明治二十三年以降高知市會議員、同參事會員、徴兵參事會委員、所得稅、相續稅等調査委員(數回)、破産督財人等ニ舉ケラレタリ

鎌田 勝太郎

文久二年正月生、香川縣平民、商勳四等

明治十六年以降衆議院議員及香川縣會議員、議長ニ當選シ、濟々學館長、香川縣醬油品評會委員長、同縣教育會長、同縣育英會理事長、愛媛縣勸業諮問會員、第二回水産博覽會評議員、鹽業調査委員、香川縣農工銀行及南滿洲鐵道株式會社各設立委員等ニ舉ケラル、又鹽産會社、宇多津鹽田會社、讚岐紡績株式會社社長、韓國實業株式會社、阪出産業株式會社、韓國拓殖株式會社等取締役會長、坂出銀行頭取、讚岐鐵道株式會社、眞宗信徒生命保險株式會社、韓國興業株式會社、起業銀行、高松銀行、讚岐農工銀行等取締役、糖業株式會社、滿洲興業株式會社、東京醬油株式會社、東洋生命保險株式會社、四國水力電氣株式會社、讚岐貯蓄銀行等監査役、韓國勸業株式會社相談役等トナレリ○多額納稅者議員ニ當選スルコト四回

森田 庄兵衛

文久二年九月生、和歌山縣平民、商

松尾 廣吉

慶應二年十二月生、佐賀縣平民、商

漢學ヲ修ム○明治二十九年以降伊萬里銀行、伊萬里鐵道株式會社等監査役、魚市合名會社長トナレリ

美馬 儀一郎

慶應三年三月生、德島縣平民、商勳六等

明治三十一年以降第五回内國勸業博覽會審査囑託、德島商業會議所會頭等ニ舉ケラレ、阿波商業銀行取締役、頭取、阿波染織同業組合組長等トナレリ、藍綬褒章ヲ賜ハル、又日本大博覽會

評議員仰付ラレタリ

尼崎 伊三郎

明治元年三月生、大阪府平民、商

明治四十三年大阪府會議員ニ舉ケラル

土居 通博

明治元年四月生、岡山縣士族、農

明治法律學校卒業○明治卅五年以降津山稅務署所得稅調査、同相續稅審査委員ニ舉ケラレ、中國鐵道株式會社取締役トナリ、土居銀行、津山貯蓄銀行等頭取津山銀行、津山電氣株式會社、津山製糸合資會社等取締役タリ○多額納稅者議員ニ當選スルコト二回

橋本 辰二郎

明治元年六月生、長崎縣平民、商

長崎市會議員、同商業會議所會頭等ニ舉ケラル、又橋本汽船株式會社社長、長崎自由倉庫株式會社、同紡績株式會社、同電燈株式會社等取締役、九州瓦斯株式會社、同汽船株式會社等監査役トナレリ

桑田 熊藏

明治元年十一月生、鳥取縣平民勳四等、法學博士

帝國大學法科大學卒業○明治四十一年以降東京帝國大學法科大學講師、東洋拓殖株式會社設立、衆議院議員選舉法改正調査會、生産調査會、通俗教育調査委員會等委員ニ舉ケラル、東京帝國大學工科大学講師、臨時博覽會評議員、教育調査會會員タリ○多額納稅者議員ニ當選スルコト二回

矢島 榮助

明治二年二月生、山梨縣平民、商

第二編 現在議員略履歴(多額納稅者)

第三編 現在議員略履歴(多額納稅者)

四百四十八

東京專門學校ニテ修學○明治三十八年以降甲府市會議員、同參事會員(名譽職トモ數回)、同學務、水道、市區改正、甲府稅務署所得稅等調查委員、甲府商業會議所議員、常議員(二回)等ニ舉ケラル、又第十銀行取締役、監查役、生絲同業組合長、製絲業矢島組組長等トナレリ

由雄 元太郎

明治二十年十月生
石川縣平民、農

石川縣專門學校ニテ修學、養蠶傳習所卒業○明治三十八年以降金澤稅務署宅地賃賃價格調查委員、石川縣東亞貿易同盟會評議員、同地主會員、同消防義會名譽會員等ニ舉ケラレタリ

日高 榮三郎

明治二十年十二月生、宮崎縣平民、漁業
勳四等

明治四十三年生産調查會委員仰付ラル○多額納稅者議員ニ當選スルコト三回

西川 甚五郎

明治三年六月生
滋賀縣平民、商

明治三十六年以降滋賀縣會議員ニ當選シ、又第五回内國勸業博覽會、韓國京城博覽會、三重、愛知二縣開關西府縣聯合共進會、滋賀縣原蠶種製造ニ供用スル種繭、八幡稅務署相續稅及營業稅等審査員、大日本蠶絲會支會副會頭、評議員、日本大博覽會滋賀縣商議員等ニ舉ケラレタリ

安田 善三郎

明治三年十月生
東京府平民、商

帝國大學法科大學卒業○明治四十二年以降韓國銀行設立委員、東京商業會議所特別議員等ニ舉ケラル、又安田銀行監督、保全社副總長、百三十銀行、大垣共立銀行、信濃銀行、日本商業銀行、高知銀行、十七銀行、正隆銀行等頭取、帝國製麻株式會社、熊本電氣株式會社、中國鐵道株式會社、日本製銅硫酸肥料株式會社等社長、東京建物株式會社、橫濱電氣鐵道株式會社等取締

役會長、東京火災保險株式會社、帝國海上運送火災保險株式會社、淺野セメント株式會社、越後鐵道株式會社等取締役、肥後銀行、共濟生命保險株式會社、水戸鐵道株式會社、鐘ヶ淵紡績株式會社、阪神電氣鐵道株式會社、沖電氣株式會社等監查役、桂川電力株式會社相談役タリ

八田 德三郎

明治四年四月生
廣島縣平民、農

明治三十七年三等郵便局長ニ任シ、爾後廣島地方森林會議員ヲ命セラレタリ

弓削 和三

明治四年五月生
熊本縣士族、商

明治四十二年以降熊本縣教育會支部特別會員ニ舉ケラル

伊藤 由太郎

明治五年四月生
愛知縣平民、農

明治三十四年以降名古屋市會議員、名古屋稅務署所得稅調查委員、名古屋商業會議所會員、日本赤十字社名古屋委員副長等ニ舉ケラレタリ

木本 源吉

明治五年五月生
奈良縣平民、農

明治二十四年以降奈良市會議員、同參事會員、同市長、同教育會、兵事會等會長、奈良縣勸業諮問會員、同關西府縣聯合共進會特別委員、大和物産共進會會長、第五回内國勸業博覽會出品協會協贊會副會長、奈良縣實業獎勵、同土木調査會、同奈良公園諮詢會、奈良稅務署所得稅調查、大阪稅務管理局所得稅審查等委員、大阪稅務管理局名譽稅務顧問、奈良縣組合銀行集會所委員長、日本赤十字社支部商議員、委員長等ニ舉ケラル、衆議院議員ニ當選スルコト二回

福島 文右衛門

明治六年八月生
福井縣平民、商

第二編 現在議員略履歴(多額納稅者)

四百四十九

第二編 現在議員略履歴(多額納稅者)

堀 正 一 明治六年十月生 山口縣平民、農

學習院高等學科、東京帝國大學文科大學等卒業、同大學研究科ニテ修學○明治三十三年滋賀縣立第二中學校教諭ニ任シ、爾後日本大學、學習院等講師、宮内省圖書寮勤務等ニ歷任セリ

鈴木 周三郎 明治九年九月生 福島縣平民、農

明治三十九年以降福島稅務署所得調査員ニ舉ケラル、又福島商業銀行、福島信託株式會社、福島瓦斯株式會社等取締役タリ

高崎 三重郎 明治十年九月生 茨城縣平民、農

明治三十八年以降麻生稅務署所得調査、同宅地賃貸價格調査、同營業稅審查等委員、日本赤十字社支部商議員等ニ舉ケラレタリ

現在職員表(大正二十三年十一月二十二日調)

書記官長	正五、勳五	柳田國男	二等四級	山口欽太郎
▲議事課	同	同	同	小菅熊之助
書記官	同	同	同	鈴木慶福
	同	同	同	菅武德太郎
	同	同	同	山田武八郎
	同	同	同	丹羽瀧男
七等十級	從七	成瀬達	二等五級	小宮八十二
屬	同	同	同	月江雋英
一等一級	正七、勳七	川村種次	同	小倉惠
一等二級	勳七	興津健夫	同	新井勝彌
	(兼)	服部鶴五郎	三等七級	川守田武一
二等四級	同	矢野勝太郎	同	上野山六郎
速記技手	同	同	四等(月二八)	宮澤彦七
一等(月一〇〇)	正七、勳七	伊藤新太郎	▲委員課	
一等一級	勳七	薦野孝卿	書記官	課長
一等二級	同	山本貞太郎	四等三級	正六
二等三級	同	川口芳之助	同	(兼) 河井彌八
同	同	同	同	(兼) 宮田光雄
現在職員表				(兼) 成瀬達

現在職員表

屬

二等三級

勳七 花房崎太郎
(兼) 矢野勝太郎

▲庶務課

書記官

四等三級

課長 正六 宮田光雄

屬

一等一級

(兼) 川村種次
正七、勳七 今井小七郎

同

二等三級

二等四級

四百五十二

從七、勳七 中村喜信

服部鶴五郎

勳七 澤山新一

(兼) 矢野勝太郎

守衛長

三等八級

守衛番長

四等(月二七)

石橋徳作

藤野信

貴族院要覽(乙)終

大正三年十一月二十八日印刷
大正三年十一月三十日發行

(一八)

貴族院事務局

印刷人 石川金太郎
東京市京橋區西紺屋町二十七番地

印刷所 株式會社 秀英舍
東京市京橋區西紺屋町二十七番地

三七H20

昭陽社 會編 卷 英 舍

東京市京橋區西橋區四丁目二十番地

昭陽社 百川金太郎

東京市京橋區西橋區四丁目二十番地

貴族院議員

大正三年十一月三十日發行

大正三年十一月二十八日印刷





